

二次元コードリーダー ユーザーズガイド

対応機種

slimQR Series
cubeQR Series



ウェルコムデザイン株式会社 URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

本社 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
サポートデリバリーセンター (SDC) 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F
TEL. 078-993-6010 (代) FAX. 078-993-6020 [本社 & SDC]
東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル
TEL. 03-3836-9411 (代) FAX. 03-3836-9412

[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名称は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付いたことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より 1 ヶ年とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第 15 条補足 J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

- ✧ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ✧ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ ACプラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ ACプラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. はじめに | 8 |
| 2. パッケージ内容の確認 | 8 |
| 3. 外観と各部名称 | 8 |
| 4. コピュータとの接続 | 9 |
| 4.1. RS232C インターフェイス接続 | 9 |
| 4.2. USB インターフェイス接続 | 9 |
| 5. コードの読み取り方法 | 10 |
| 読み取り深度参考値 | 10 |
| 読み取りフィールド角度と解像度 | 10 |
| 6. カスタムデフォルトと工場デフォルト | 11 |
| カスタムデフォルトの設定 | 11 |
| カスタムデフォルト(工場デフォルト)に初期化 | 11 |
| カスタムデフォルトの削除 | 11 |
| 7. インターフェイスの設定 | 12 |
| インターフェイスの選択設定 | 12 |
| RS232C インターフェイス | 12 |
| USB IBM SurePos インターフェイス | 12 |
| USB キーボード インターフェイス | 12 |
| USB HID-POS インターフェイス | 13 |
| USB シリアルインターフェイス(USB-COM) | 13 |
| キーボードオプション | 13 |
| 各国キーボードレイアウト | 13 |
| Caps/Shift Lock ステータス | 14 |
| アルファベットの大文字・小文字変換 | 14 |
| 数字データのテンキー送信 | 14 |
| RS232C オプション | 15 |
| ポートレート | 15 |
| データフォーマット(データビット/ストップビット/パリティ) | 16 |
| RTS/CTS フロー制御 | 17 |
| RTS/CTS タイムアウト | 17 |
| XON/XOFF 制御 | 19 |
| ACK/NAK ハンドシェイク | 19 |
| 8. インデクータ読み取り・データフォーマットに関する設定 | 20 |
| インデクータの設定 | 20 |
| パワーアップブザー | 20 |
| BEL キャラクタ受信時ブザー | 20 |
| トリガ クリックブザー | 20 |
| ゲットリートブザー | 20 |
| ゲットリートブザー-音量 | 21 |
| ゲットリートブザー-周波数 | 21 |
| ゲットリートブザー-長 | 21 |
| ゲットリートブザー-回数 | 22 |
| ゲットリートデレイ | 23 |
| カスタムゲットリートデレイ | 23 |
| イラフブザー-周波数 | 25 |
| イラフブザー-回数 | 25 |
| ゲットリート LED | 25 |
| マルチアルティモードの設定 | 27 |
| LED 照明(マルチアルティモード) | 27 |
| シリアルアルティモードの設定 | 27 |
| 読み取りタイムアウト | 27 |
| フレキシションモードの設定 | 29 |
| LED 照明(フレキシションモード) | 29 |
| コード検知感度 | 29 |
| フレキシションセンタリング | 31 |
| 読み取りに関する設定 | 33 |
| 低品質 1 次元コード読み取り | 33 |
| 低品質 PDF コード読み取り | 33 |
| 携帯電話読み取りモード | 33 |
| ハズレフリータイムアウト | 33 |
| 同一コード読み取り防止タイマー | 35 |

| | |
|------------------------------------|-----|
| 同一コード 読取防止カスタムタイマー | 35 |
| 同一 2 次元コード 読取防止タイマー | 35 |
| カスタムキャラクタリカモード | 37 |
| 照明 LED | 39 |
| イマーデイルイ | 39 |
| カスタムイマーデイルイ | 39 |
| イマー | 41 |
| ノリット | 41 |
| 反転(補)コード 読み取り | 41 |
| セタリツ(ハットヘルドモード) | 42 |
| コードの向き | 44 |
| データフォーマットの設定 | 45 |
| プリフィクス/サフィクスとは | 45 |
| クイック設定(サフィクス Enter) | 45 |
| プリフィクス/サフィクスの設定 | 45 |
| ファンクションコード 送信 | 47 |
| キャラクタ間デイルイ | 47 |
| 指定キャラクタデイルイ | 47 |
| コントロールキャラクタデイルイ | 49 |
| メッセージ間デイルイ | 49 |
| データフォーマットID イタ | 51 |
| タミル ID 表 | 51 |
| データフォーマットの登録 | 52 |
| データフォーマットID イタマソト | 52 |
| データフォーマットの有効化 | 62 |
| 基本データフォーマットと代替データフォーマット | 62 |
| 9. 読取コードの設定 | 63 |
| 全コード | 63 |
| コードバ(NW7) | 64 |
| コード 39 | 66 |
| インターリーブ 2 オブ 5 | 68 |
| NEC 2 オブ 5 | 70 |
| コード 93 | 72 |
| インダストリアル 2 オブ 5 | 72 |
| IATA 2 オブ 5 | 74 |
| マトリクス 2 オブ 5 | 74 |
| コード 128 | 76 |
| GS1-128 | 76 |
| UPC-A | 78 |
| UPC-E | 79 |
| EAN/JAN-13 | 80 |
| EAN/JAN-8 | 81 |
| MSI | 82 |
| GS1 Databar Omnidirectional | 84 |
| GS1 Databar Limited | 84 |
| GS1 Databar Expanded | 84 |
| Codablock A | 86 |
| Codablock F | 86 |
| PDF417 | 88 |
| MicroPDF417 | 88 |
| GS1 Composite | 90 |
| GS1 Iミル-ヨソ | 90 |
| TLC39 | 92 |
| QR コード | 92 |
| Data Matrix | 94 |
| MaxiCode | 94 |
| Aztec コード | 96 |
| MaxiCode | 96 |
| 郵便コード | 98 |
| 10. イメージング マソト | 99 |
| マソト 書式 | 99 |
| イメージを撮影する : イメージ スナップ マソト - IMGSNP | 99 |
| イメージを送信する : イメージ スナップ マソト - IMGSHF | 102 |
| 11. シリアルマソト | 109 |
| ユニマソトの書式 | 109 |
| ケリマソト | 109 |

1. はじめに

この度は、弊社 diBar 二次元コードリーダシリーズ（以下、リーダ）をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、リーダの正しくご利用いただくために用意されたユーザーガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドバーストを読み取ることで、リーダのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

尚、本書では日本国内での使用が無いと思われる一部設定を割愛しております。記載に無い設定についても、個別に対応させていただきますので、お気軽に弊社又は販売店までご相談ください。また、特殊なデータ加工やデータ照合など、お客様専用のソフトウェア開発も可能です。

2. パッケージ内容の確認

パッケージには、下記のものが含まれています。欠品、破損などありましたら、お手数ですが販売店までご連絡をお願いします。

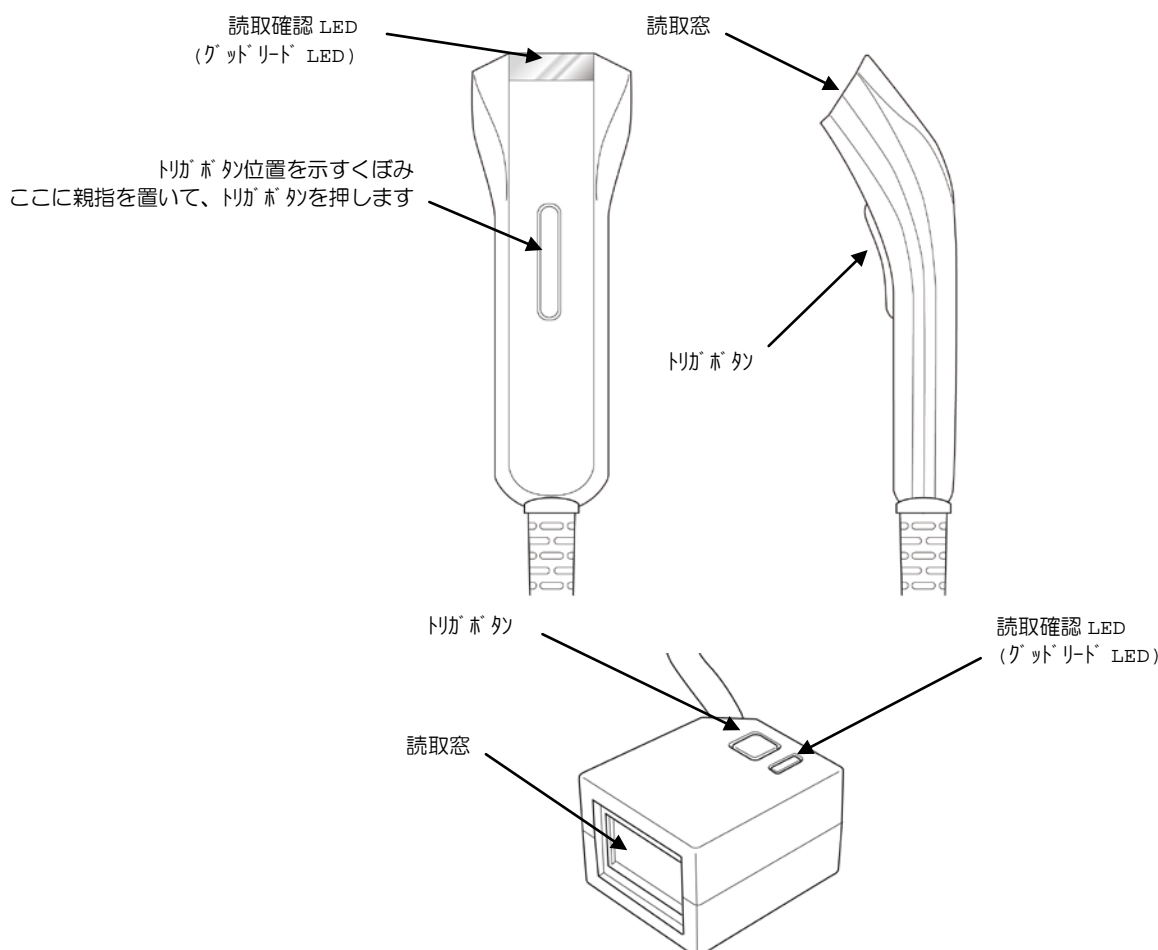
- リーダ本体（インターフェイスケーブル付）
- 導入ガイド

以下、オプションとしてご購入された場合に付属します。

- ACアダプタ
- 充電器
- オートスタート

尚、個装箱は、修理品送付時の破損を避けるために必要となりますので、大切に保管するようお願いします。

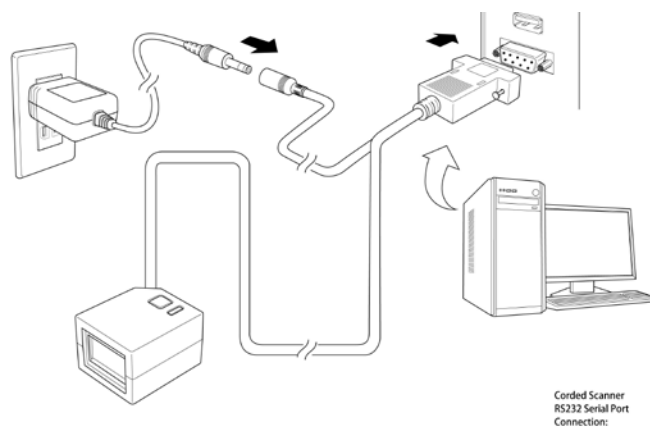
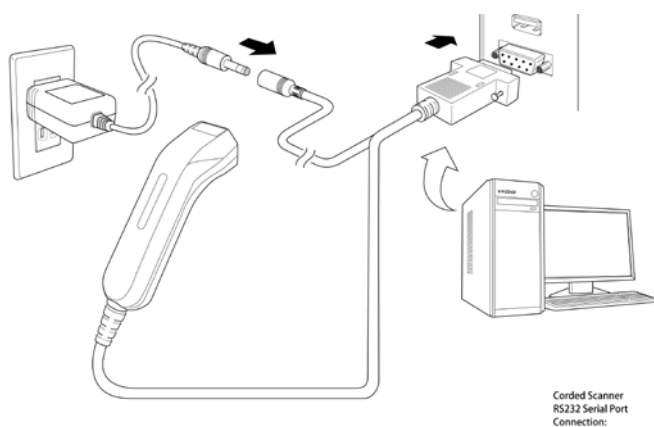
3. 外観と各部名称



4. コンピュータとの接続

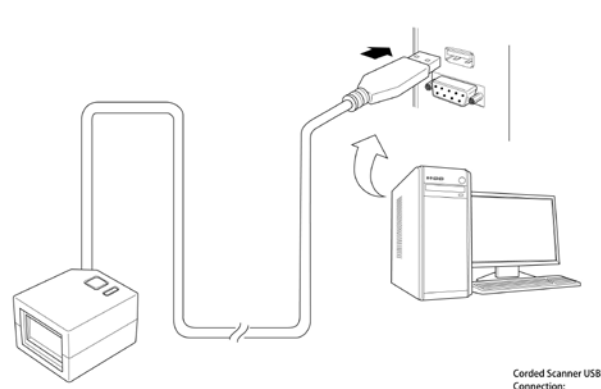
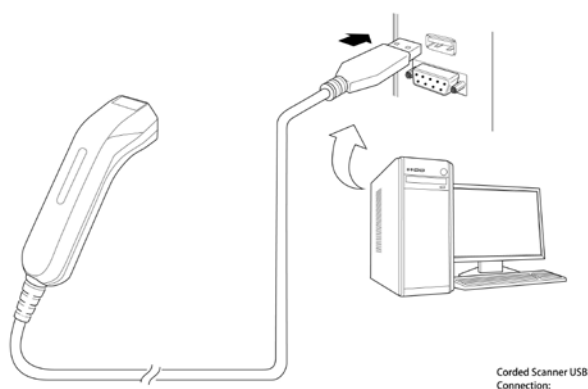
4.1. RS232C インターフェイス接続

下図を参照して、リーダと PC を正しく接続してください。AC アダプタを使用する場合は、必ず弊社指定の AC アダプタを使用してください。



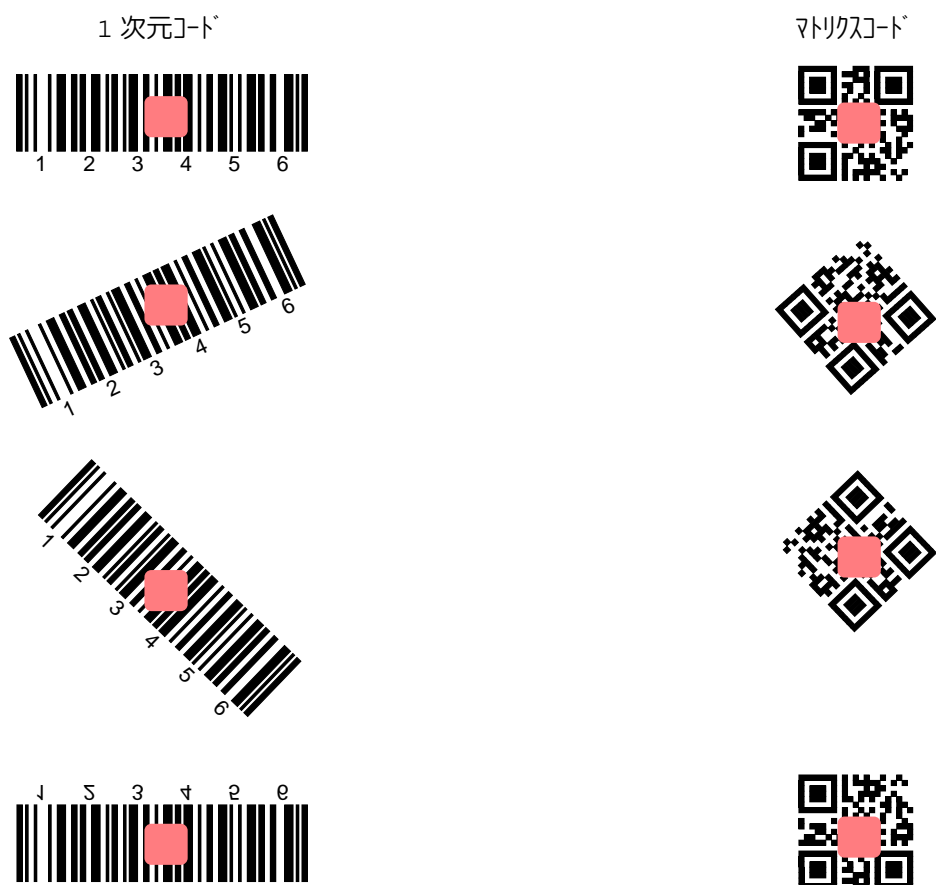
4.2. USB インターフェイス接続

下図を参照して、リーダと PC を正しく接続してください。



5. コードの読み取り方法

リーダは、目的コードに照準を合わせやすくするための赤色レーザーを照射します。下図のように、このレーザーの中心がコードの中央になるよう照射してください。360度の読み取りが可能のため、コードの角度に気を付ける必要はありません。



読取深度参考値

| コードシンボル | 近距離読み取り | 遠距離読み取り | 読取深度 |
|-----------------------|---------|---------|-------|
| コード 39 (0.127mm) | 61mm | 130mm | 69mm |
| コード 39 (0.508mm) | 60mm | 380mm | 320mm |
| UPC100% (0.33mm) | 55mm | 280mm | 225mm |
| PDF417 (0.17mm) | 60mm | 125mm | 65mm |
| Data Matrix (0.254mm) | 60mm | 130mm | 70mm |
| QRコード (0.508mm) | 50mm | 230mm | 180mm |

上記の値は、下記の条件下で測定した参考値(実力値)であり、保証値ではありません。コード品質や周囲照度など運用環境により異なるため、実運用環境にて、事前に最適な読み取り距離を検証するようお願いします。

- ✓ リーダの読取ウィンドウからの距離
(eTicketリーダは既にフォーカス位置に読取ウィンドウが最適化されているため、該当しません)
- ✓ 周囲照度 535lux, 室温 23℃
- ✓ 高品質な標準コードを使用

読取フィールド 角度と解像度

| 方向 | 角度 | 解像度 |
|------|----------|---------|
| 水平方向 | +/-18.9° | 640ピクセル |
| 垂直方向 | +/-14.4° | 180ピクセル |

6. カスタムデフォルトと工場デフォルト

カスタムデフォルトの設定

リーダーには、ユーザーに応じたカスタムデフォルトを保存し、呼び出す機能があります。下記に手順を示します。

1. 下記の「カスタムデフォルト設定開始」コードをスキャンします。



2. 続いて、本章以降を参照して、パラメータ設定を行います。
パラメータによっては、続けて、「数値」コードのスキャンが必要となります。「数値」コードをスキャンした場合は、最後に「確定」コードをスキャンして、設定を確定してください。
3. 全ての設定が終われば、下記の「カスタムデフォルト設定終了」コードをスキャンします。
もし、カスタムデフォルトの変更を行いたい場合は、手順 1 から再度やり直します。



カスタムデフォルト(工場デフォルト)に初期化

リーダーをカスタムデフォルトで初期化する場合は、下記の「デフォルト」コードをスキャンします。先の手順でカスタムデフォルトが設定されていない場合は、工場デフォルトで初期化されます。



カスタムデフォルトの削除

リーダーに設定済みのカスタムデフォルトを削除する場合は、下記の「カスタムデフォルト削除」コードをスキャンします。続けて、上記の「デフォルト」コードをスキャンすると、リーダーは、工場デフォルトで初期化されます。



7. インターフェイスの設定

インターフェイスクイック設定

RS232C インターフェイス

下記のコードをスキャンすると、リーダーをRS232C インターフェイスに初期化します。



同時に各パラメータも下表のように初期化されます。

| パラメータ | 設定値 |
|-----------|-----------------------------|
| ポート | 115,200bps |
| データフォーマット | データビット 8, パリティ無し, ストップビット 1 |
| サフィックス | CR/LF |
| トリガモード | マルチトリガ |

USB IBM SurePos インターフェイス

下記の何れかのコードをスキャンすると、リーダーをUSB IBM SurePos に初期化します。



同時に各コードのサフィックスも下表のように初期化されます。

| コード | サフィックス | コード | サフィックス |
|-------|--------|--------------|----------|
| EAN8 | 0C | コード 39 | 00 0A 0B |
| EAN13 | 16 | インターリーブド 2/5 | 00 0D 0B |
| UPCA | 0D | コード 128 | 00 18 0B |
| UPCE | 0A | コード 39 | 00 0A 0B |

USB キーボード インターフェイス

下記の何れかのコードをスキャンすると、リーダーをUSB キーボード インターフェイスに初期化します。

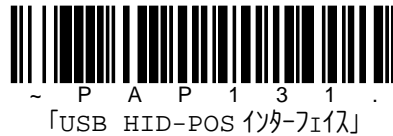


日本語キーボードの場合は、上記の「英語キーボード」に続けて、下記の「日本語キーボード」をスキャンします。



USB HID-POS インターフェイス

下記のコードをスキャンすると、リーダーを USB HID-POS インターフェイスに初期化します。



USB シリアルインターフェイス(USB-COM)

下記のコードをスキャンすると、リーダーを USB シリアルインターフェイスに初期化します。Windows® PC でご利用の場合は、弊社 WEB サイトより専用ドライバをダウンロードください。Mac PC の場合、CDC クラスデバイスとして認識され、自動的にクラスドライバが適用されます。



オプションパラメータとして、ACK/NAK ハンドシェイクの設定が行えます。



「参考」

ポートなどのパラメータ設定は必要ありません。

キーボードオプション

各国キーボードレイアウト

ご使用の PC に合ったキーボードレイアウトを設定してください。本書に記載の無いキーボードレイアウトの設定は、お手数ですが、弊社までお問い合わせください。



Caps/Shift Lock 設定

ご使用の PC に合った Caps/Shift Lock 設定を設定してください。



アルファベットの大文字・小文字変換



数字データのキー送信

数字データをキーデータとして送信したい場合は、「キー送信 有り」に設定します。



RS232C オプション

ボーレート



データフォーマット(データビット/ストップビット/パリティ)



~ 2 3 2 W R D 3 .
「データビット 7/ストップビット 1/パリティ 偶数」



~ 2 3 2 W R D 0 .
「データビット 7/ストップビット 1/パリティ 無し」



~ 2 3 2 W R D 6 .
「データビット 7/ストップビット 1/パリティ 奇数」



~ 2 3 2 W R D 4 .
「データビット 7/ストップビット 2/パリティ 偶数」



~ 2 3 2 W R D 1 .
「データビット 7/ストップビット 2/パリティ 無し」



~ 2 3 2 W R D 7 .
「データビット 7/ストップビット 2/パリティ 奇数」



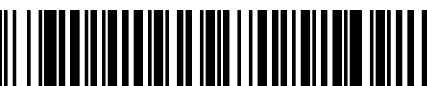
~ 2 3 2 W R D 5 .
「データビット 8/ストップビット 1/パリティ 偶数」



~ 2 3 2 W R D 2 .
「データビット 8/ストップビット 1/パリティ 無し」



~ 2 3 2 W R D 8 .
「データビット 8/ストップビット 1/パリティ 奇数」



~ 2 3 2 W R D 1 4 .
「データビット 8/ストップビット 1/パリティ マーク」

RTS/CTS 70-制御



RTS/CTS 70-制御 有り, タイムアウト 無し
リーダは、データ送信前に RTS ラインをオンにし、CTS ラインがオフによってオンにされるのを待ちます。

2 方向 RTS/CTS 70-制御 有り
リーダは、データを受信可能な時 RTS ラインをオンにし、オフはデータを受信可能な時 CTS ラインをオンにします。



RTS/CTS 70-制御 有り, タイムアウト 有り
リーダは、データ送信前に RTS ラインをオンにし、CTS ラインがオフによってオンにされるのを待ちます。タイムアウト値は、次の「RTS/CTS タイムアウト」で設定します。

RTS/CTS 70-制御 無し
RTS/CTS 70-制御を行いません。



RTS/CTS タイムアウト

下記の「RTS/CTS タイムアウト」をスキャンし、続けて、次頁の「数字」ドット表からタイムアウト値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、1~5100 で、単位はミリ秒です。



例) 100 ミリ秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「RTS/CTS タイムアウト」→「1」「0」「0」→「確定」

数字コード表



XON/XOFF 制御

XON キャラクタ(DC1, 11hex)と XOFF キャラクタを使って、データ送受信を制御します。ホストから XOFF キャラクタを受信すると、リーダーは送信を中断し、XON キャラクタを受信すると、再開します。



ACK/NAK ハンドシェイク

リーダーはデータ送信後、ホストからの ACK キャラクタ(06hex)又は NAK キャラクタ(15hex)を待ちます。ACK キャラクタを受信すると、送信を完了し、次のスキャンが行える状態になります。NAK キャラクタを受信すると、データを再送し、再びホストからの ACK/NAK 応答を待ちます。



8. インデクサ・読み取り・データフォーマットに関する設定

インデクサの設定

パワーアップブザー



BEL キャラク受信時ブザー

リーダーは、BEL キャラク(07hex)を受信すると、ブザーを鳴らします。



トリガ クリックブザー

リーダーのトリガを引くと、ブザーを鳴らします。



グッドリードブザー

リーダーは、コードの読み取りに成功すると、ブザーを鳴らします。



グッドリードブザー音量



グッドリードブザー周波数



(*) 上記以外の周波数に設定することも可能です。弊社までお問い合わせください。

グッドリードブザー長

グッドリード LED も連動して点灯します。



グッドリードブザー回数

下記の「グッドリードブザー回数」をスキャンし、続けて、下記の「数字コード表」から回数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、1~9 で、デフォルトは、1 です。尚、ここで設定した回数、グッドリード LED も連動して点灯します。



数字コード表



グットリード Delay

リーダーが次のコードをスキャンするまでのデレイタイムを設定します。任意のデレイタイムを設定したい場合は、次の「カスタムグットリード Delay」で行います。



「無し」



「500 ミリ秒」



「1000 ミリ秒」



「1500 ミリ秒」

カスタムグットリード Delay

下記の「カスタムグットリード Delay」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からデレイタイムをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~30000 で、単位はミリ秒です。



「カスタムグットリード Delay」

例) デレイタイムを 10 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「カスタムグットリード Delay」→「1」「0」「0」「0」「0」→「確定」

数字コード表



イラフザ-周波数



~ B E P F Q 2 2 5 0 .
「250Hz, 低音」



~ B E P F Q 2 3 2 5 0 .
「3250Hz, 中音」



~ B E P F Q 2 4 2 0 0 .
「4200Hz, 高音」

イラフザ-回数

下記の「イラフザ-回数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から回数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、1~9 で、デフォルトは、1 です。尚、ここで設定した回数、Ir-LED も連動して点滅します。



~ B E P E R R .
「イラフザ-回数」

例) 9 回に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「イラフザ-回数」→「9」→「確定」

グッドリード LED

リードは、コードの読み取りに成功すると、LED を点灯します。



~ B E P L E D 1 .
「グッドリード LED 点灯 有り」



~ B E P L E D 0 .
「グッドリード LED 点灯 無し」

数字コード表



マニュアルリガモードの設定

下記のコードをスキャンすると、リーダーはマニュアルリガモードで動作します。



LED 照明(マニュアルリガモード)

リーダーが、コード読み取り時に発光する LED 照明の明るさを設定します。



「参考」

LED 照明は、カメラのフラッシュに相当します。照明が少ない暗めの部屋では、LED 照明をより明るくすることで、リーダーがコードを正しく認識できるようになります。

シリアルリガモードの設定

リーダーは、読取開始コマンドを受信すると、コードの読み取りを開始します。リーダーは、コードを正しく読み取るか、読取終了コマンドを受信すると、読み取りを終了します。また、次の「読取タイムアウト」を設定することで、設定時間で読み取りを終了させることができます。

読取開始コマンド : SYN T CR
読取終了コマンド : SYN U CR

(*) SYN=16hex, T=54hex, U=55hex, CR=0Dhex

読取タイムアウト

下記の「読取タイムアウト」をスキャンし、続けて、次ページの「数字コード表」からタイムアウト値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~30000 で、単位はミリ秒です。デフォルトは、30000 ミリ秒です。



例) 1 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「読取タイムアウト」→「1」「0」「0」「0」→「確定」

数字コード表



フレッシュモードの設定

フレッシュモードでは、周囲光を利用してコードを自動検出します。リーダは、コードを検知すると、LED 照明を発光して、読み取りを行います。照明が十分でない暗い部屋では、フレッシュモードは、正しく動作しない場合があります。

下記のコードをスキャンすると、リーダはフレッシュモードで動作します。



LED 照明(フレッシュモード)

フレッシュモードで待機時の LED 照明の明るさを設定します。



「参考」

照明が少ない暗めの部屋では、LED 照明をより明るくすることで、リーダがコードを検知しやすくなります。また、この設定は、「低品質 PDF」及び「携帯電話読取モード」には適用されません。

コード検知感度

下記の「コード検知感度」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から感度値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~20 で、0 が最も高く、20 が最も低い感度になります。デフォルトは、1 です。



例) 最も高い感度 0 に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「コード検知感度」→「0」→「確定」

数字コード表

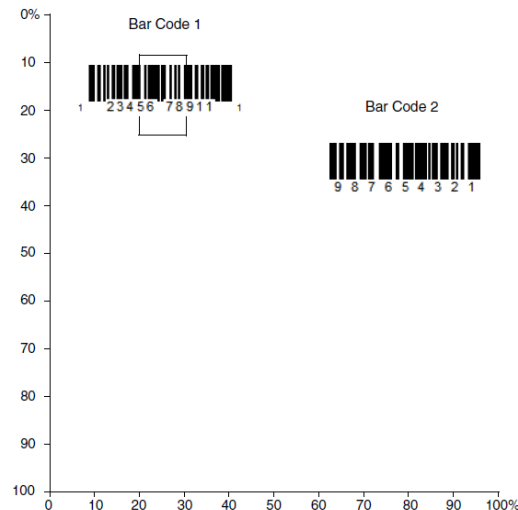


フ レ ッ シ ョ ン セ ン タ リ ン グ

フ レ ッ シ ョ ン セ ン タ リ ン グ は、リーダ の読取フィールド の有効範囲を制限する設定です。この設定を利用することで、フ レ ッ シ ョ ン モー ド で、ターゲ ッ ト に複数のコード が隣接する場合でも、確実に目的のコード を読み取ることができるようになります。

「フ レ ッ シ ョ ン セ ン タ リ ン グ 有り」に設定した場合、設定された有効範囲を通過しない限り、目的のコード を読み取ることができません。

下記の例では、黒枠の四角形部分が設定されたフ レ ッ シ ョ ン セ ン タ リ ン グ の有効範囲です。有効範囲は、左 20%・右 30%・上 8%・下 25%に設定されています。バーコード 1 は、有効範囲内にあるため、読み取られますが、バーコード 2 は、有効範囲外のため、対象外となります。有効範囲内にコード 全体が入る必要はありません。



下記の「フ レ ッ シ ョ ン セ ン タ リ ン グ 上・下・左・右」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード 表」から範囲(%)をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。デフォルトは、上 40%・下 60%・左 40%・右 60%です。



数字コード表



読み取りに関する設定

低品質 1 次元コード 読み取り

汚れやダメージのある品質の低い 1 次元コードの読み取りを改善します。リーダのパフォーマンスは低下するため、必要最低限の利用に留めるようにしてください。2 次元コードの読み取りには影響しません。



~ D E C L D I 1 .
「低品質 1 次元コード 読み取り 有り」



~ D E C L D I 0 .
「低品質 1 次元コード 読み取り 無し」

低品質 PDF コード 読み取り

汚れやダメージのある品質の低い PDF コードの読み取りを改善します。リーダのパフォーマンスは低下するため、必要最低限の利用に留めるようにしてください。



~ P D F X P R 1 .
「低品質 PDF コード 読み取り 有り」



~ P D F X P R 0 .
「低品質 PDF コード 読み取り 無し」

携帯電話読取モード

リーダを携帯電話画面や他の LED ディスプレイに表示されたコードの読み取り用に最適化します。但し、このモードでは、印刷されたコードの読み取りが僅かに遅くなります。



~ P A P H H C .
「ハンドヘルド 読み取り」



~ P A P P S C .
「プレゼンテーション読み取り」

「参考」

マニュアルリグモードに設定することで、通常の読取モードに復帰します。

ハズフリータイムアウト

ハズフリーモード（プレゼンテーションモード）で動作中に、トリガキーを押すと、リーダはハズフリータイムアウトで設定された時間、マニュアルリグモードに移行して動作します。設定された時間が経過すると、リーダは、元のハズフリーモードに復帰します。時間内にトリガが押された場合は、タイマーがリセットされ、再加計されます。下記の「ハズフリータイムアウト」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からタイムアウト値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~300000 で、単位はミリ秒です。デフォルトは、5000 ミリ秒です。



~ T R G P T O .
「ハズフリータイムアウト」

数字コード表



同一コード 読取防止タイマー

リーダが同一コードを読み取るのを防止するためのタイマーを設定します。任意の防止タイマーを設定したい場合は、次の「同一コード 読取防止タイマーカスタムタイマー」で行います。この防止タイマーは、プレセプションボードでのみ有効です。



同一コード 読取防止カスタムタイマー

下記の「同一コード 読取防止カスタムタイマー」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からタイマーをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~30000 で、単位はミリ秒です。



例) 防止タイマーを 10 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「同一コード 読取防止カスタムタイマー」→「1」「0」「0」「0」→「確定」

同一 2 次元コード 読取防止タイマー

2 次元コードの同一コード 読取防止タイマーを個別に設定したい場合に利用します。先の「同一コード 読取防止タイマー」を共通で適用する場合は、「無し」に設定します。



数字コード表



カスタムキャラクタリガモード

設定された読取開始キャラクタを受信するとリーダーは読み取り状態になり、設定された読取タイムアウト時間が経過するか、読取終了キャラクタを受信すると、読み取りを終了します。また、時間内にコードを読み取った場合も終了します。



読取開始キャラクタ/読取終了キャラクタ

下記の「読取開始キャラクタ」又は「読取終了キャラクタ」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」から設定したいキャラクタの ASCII コードをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。デフォルトは、それぞれ DC2 (12hex) と DC4 (14hex) です。



例) 読取開始キャラクタを@ (40hex) に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「読取開始キャラクタ」→「4」「0」→「確定」

コード読み取り後の継続読み取り

コードの読み取りに成功した後、コード読み取りを継続する場合は、「コード読み取り継続 有り」に設定します。



読取タイムアウト

下記の「読取タイムアウト」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」から設定したいタイムアウト値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、1~300000 で、単位はミリ秒です。デフォルトは、30000 ミリ秒です。



例) 読取タイムアウトを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「読取タイムアウト」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

英数字コード表



読取終了キャラクタの使用

デフォルトでは、読取終了キャラクタは無効となっています。使用する場合は、「読取終了キャラクタの使用 有り」に設定してください。



照明 LED

リーダでコードを読み取る際、照明 LED を点灯する場合は、「照明 LED 有り」に設定してください。



イマーデレイ

カメラが照準を合わせやすくするためのイマーデレイを設定します。リーダは、トリガが押されても、ここで設定された時間、イマーのみを照射し、照明 LED を点灯しません。任意のイマーデレイを設定したい場合は、次の「カスタムイマーデレイ」で行います。



カスタムイマーデレイ

下記の「カスタムイマーデレイ」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からタイマーをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~4000 で、単位はミリ秒です。



例) カスタムイマーデレイを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「カスタムイマーデレイ」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

数字コード表



Iバー

リーダーでコードを読み取る際、Iバーを照射する場合は、「Iバー 有り」に設定してください。



ノリード

リーダーは、コードの読み取りに失敗すると、ノリードを意味する「NR」を送信します。



反転(初)コード 読み取り

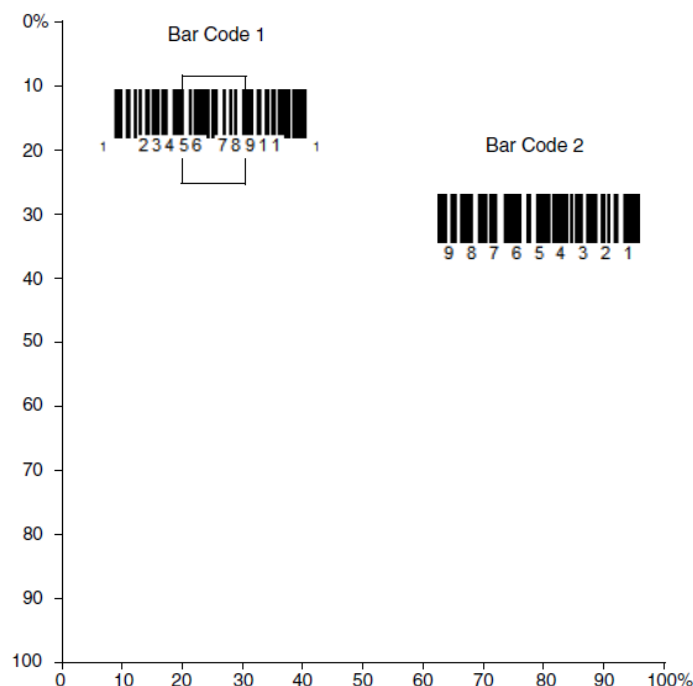


センタリング (ハンドヘルドモード)

センタリングは、リーダの読取フィールドの有効範囲を制限する設定です。この設定を利用することで、ハンドヘルドモードで、ターゲットに複数のコードが隣接する場合でも、確実に目的のコードを読み取ることができるようになります。

「センタリング 有り」に設定した場合、設定された有効範囲を通過しない限り、目的のコードを読み取ることができません。

下記の例では、黒枠の四角形部分が設定されたプレジジョンセンタリングの有効範囲です。有効範囲は、左 20%・右 30%・上 8%・下 25%に設定されています。バーコード 1 は、有効範囲内にあるため、読み取られますが、バーコード 2 は、有効範囲外のため、対象外となります。有効範囲内にコード全体が入る必要はありません。



下記の「センタリング 上・下・左・右」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から範囲(%)をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。デフォルトは、上 40%・下 60%・左 40%・右 60%です。

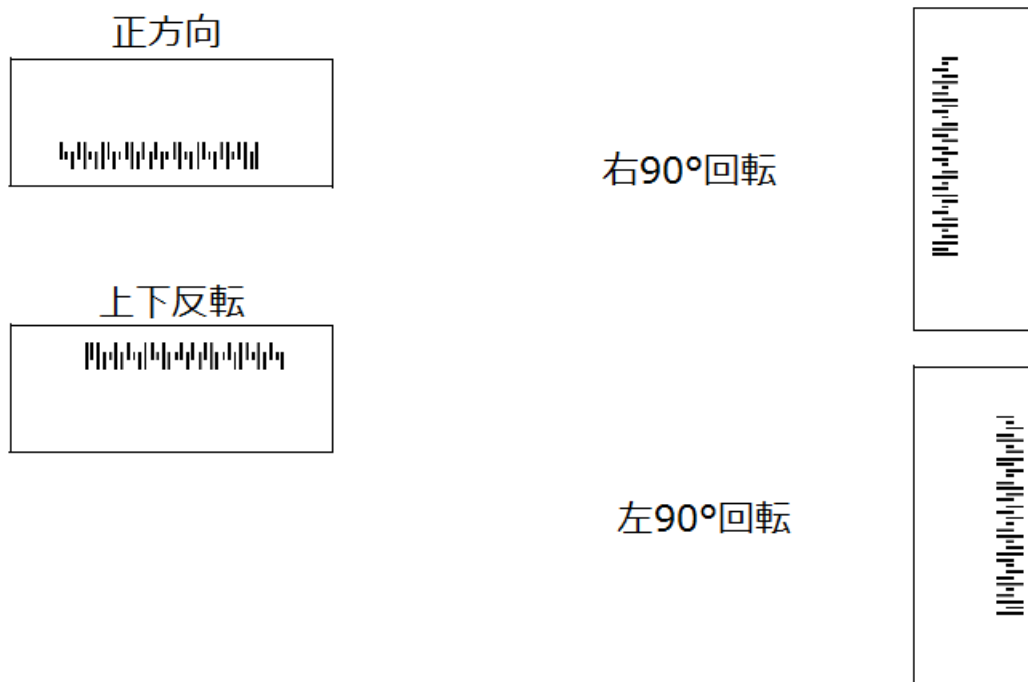


数字コード表



コードの向き

幾つかのコードは、向きに対して繊細です。例えば、KIX コードや OCR が上下反転したり、左右に回転すると、誤読が発生します。向きに対して繊細なコードを正方向以外で読み取る必要がある場合は、この設定を行ってください。



データフォーマットの設定

プリフィックス/サフィックスとは

読取データの前後に任意のプリフィックス及びサフィックスを付加送信することができます。下記に基本データフォーマットを示します。

| プリフィックス (デフォルト 無し) | 読取データ | サフィックス (デフォルト 無し) |
|-----------------------|-------|----------------------|
|-----------------------|-------|----------------------|

プリフィックス及びサフィックスには、それぞれ最大 200 文字まで設定することができます。

クイック設定(サフィックス Enter)

全てのコードシボルのサフィックスを Enter に設定します。



(*) RS232C/USB シリアルインターフェイスでは、CR (0Dhex) が送信されます。

プリフィックス/サフィックスの設定

下記の「プリフィックス設定」又は「サフィックス設定」をスキャンし、続けて、対象コードシボルに対応する値(「補足 A. コードシボル表」を参照)と設定したい文字の ASCII コードを次頁の「英数字コード表」からスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。



例) 全コードシボル (99hex) のプリフィックスを ABC に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「プリフィックス設定」→「9」「9」「4」「1」「4」「2」「4」「3」→「確定」

例) 全コードシボル (99hex) のプリフィックスを標準コード ID に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「プリフィックス設定」→「9」「9」「5」「C」「8」「0」→「確定」

例) コード 39 (62hex) の全サフィックスをクリアする場合、下記の順にスキャンします。

「全サフィックスクリア」→「6」「2」

英数字コード表



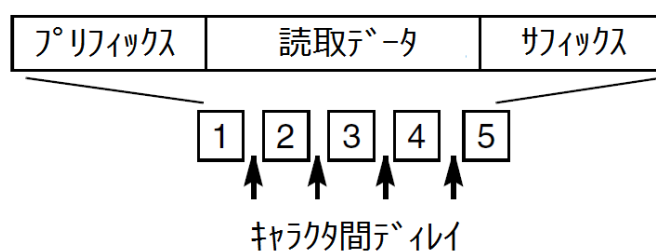
ファンクションコード送信

読取データに含まれるファンクションコードを送信する場合は、「ファンクションコード送信 有り」に設定してください。ファンクションコードの割り付けについては、「補足 B. ASCII コード変換表」を参照ください。



キャラクタ間デレイ

下記の「キャラクタ間デレイ」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」からデレイをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、0~5000 で、設定単位はミリ秒です。但し、5 ミリ秒毎の設定になります。



例)キャラクタ間デレイを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「キャラクタ間デレイ」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

「参考」

キャラクタ間デレイは、USB シリアルインターフェイスでは機能しません。デレイを無しに設定したい場合は、0 を設定します。

指定キャラクタデレイ

指定キャラクタ送信後に挿入するデレイです。下記の「指定キャラクタデレイ」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」からデレイをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、0~5000 で、設定単位はミリ秒です。但し、5 ミリ秒毎の設定になります。



続いて、指定キャラクタを設定します。下記の「指定キャラクタ」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」から ASCII コードをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。



英数字コード表



コントロールキャラクターコード

コントロールキャラクター送信後に挿入されるコードです。「補足 B. ASCII コード 変換表」を参照ください。

下記の「コントロールキャラクターコード」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からコードをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、0~5000 で、設定単位はミリ秒です。但し、5 ミリ秒毎の設定になります。



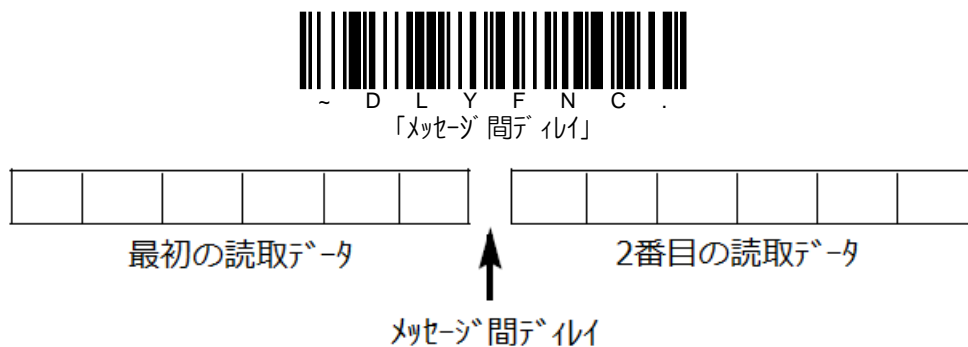
例) コントロールキャラクターコードを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「コントロールキャラクターコード」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

メッセージ間コード

読取データと読取データの間に挿入されるコードです。

下記の「メッセージ間コード」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からコードをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、0~5000 で、設定単位はミリ秒です。但し、5 ミリ秒毎の設定になります。



例) メッセージ間コードを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「メッセージ間コード」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

数字コード表



データフォーマットデータ

リーダーは読取データを任意に加工編集して出力することが可能な強力なデータフォーマットデータを搭載しています。例えば、読取データの指定位置にキャラクタを挿入したり、指定位置のデータを削除するなど、フルプログラマブルな編集を行うことができます。デフォルトは、無効です。

通常、リーダーはコードを読み取ると自動的にそのデータを送信します。しかし、データフォーマットデータを使用する場合は、フォーマットプログラム中で明示的に送信コマンドを使用する必要があります。

リーダーには、4 までのデータフォーマットを登録することができ、それらはプログラムされた順番にスタックされます。但し、下記のリストに示す順序で、データフォーマットは適用されます。

1. 指定ターミナル ID, 指定コード ID, 指定桁数
2. 指定ターミナル ID, 指定コード ID, 任意桁数
3. 指定ターミナル ID, 任意コード ID, 指定桁数
4. 指定ターミナル ID, 任意コード ID, 任意桁数
5. 任意ターミナル ID, 指定コード ID, 指定桁数
6. 任意ターミナル ID, 指定コード ID, 任意桁数
7. 任意ターミナル ID, 任意コード ID, 指定桁数
8. 任意ターミナル ID, 任意コード ID, 任意桁数

データフォーマットデータで定義可能なサイズは、ヘッダ情報を含めて最大 2000 バイトです。

リーダーは、最初のデータフォーマットが適用外の場合、次のデータフォーマット(複数登録されている場合)をチェックします。全てのデータフォーマットが適用外の場合、リーダーは何も加工編集を行わず、読取データをそのまま送信します。

全てのデータフォーマットをクリアして、初期状態に戻したい場合は、下記の「データフォーマット初期化」をスキャンしてください。



ターミナル ID 表

| ターミナル | モデル | ターミナル ID |
|-------|----------------------|----------|
| USB | USB キーボード (英語) | 124 |
| | USB キーボード (Mac) | 125 |
| | USB キーボード (日本語) | 134 |
| | USB シリアル | 130 |
| | HID POS | 131 |
| | USB SurePOS Handheld | 128 |
| | USB SurePOS Tabletop | 129 |
| シリアル | RS232C | 000 |
| | RS485 | 051 |
| キーボード | PS2 互換 | 003 |
| | AT 互換 | 002 |

データーフォーマットの登録

下記の手順に従って、データーフォーマットの追加登録を行います。

- 最初に「データーフォーマット登録開始」をスキャンします。
- 次頁の「数字コード表」から 0~3 をスキャンします。0~3 は、それぞれ 0 = 基本データーフォーマット, 1 = 代替データーフォーマット 1, 2 = 代替データーフォーマット 2, 3 = 代替データーフォーマット 3 を意味します。
- データーフォーマットを適用する指定ターミナル ID (前頁を参照) 3 桁を次頁の「数字コード表」でスキャンします。任意ターミナル ID (全てのターミナル ID) に設定する場合は、「099」をスキャンします。例えば、指定ターミナル ID を USB キーボード (日本語) に設定する場合は、「134」をスキャンします。
- データーフォーマットを適用する指定コード ID (「補足 A. コードシリアル表」の標準コード ID を参照) 2 桁を次頁の「英数字コード表」でスキャンします。任意コード ID (全てのコード ID) に設定する場合は、「99」をスキャンします。例えば、指定コード ID をコダバ (NW7) に設定する場合は、「61」をスキャンします。
- データーフォーマットを適用する指定桁数 (最大 9999) 4 桁を次頁の「英数字コード表」でスキャンします。任意桁数 (全ての桁数) に設定する場合は、「9999」をスキャンします。例えば、指定桁数を 40 桁に設定する場合は、「0040」をスキャンします。
- 「エディットコメント」を参照して、希望する加工編集内容に合わせたコメントを次頁の「英数字コード表」でスキャンします。
- 最後に「確定」をスキャンすれば登録完了です。登録せずに破棄する場合は、「破棄」をスキャンします。

1 データーフォーマットクリア

データーフォーマット登録と同様に、「1 データーフォーマットクリア」をスキャン後、基本/代替データーフォーマット (0~3)、ターミナル ID、コード ID、桁数の順にスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。条件に合致したデーターフォーマットがクリアされます。

全データーフォーマットクリア

「全データーフォーマットクリア」をスキャン後、「確定」をスキャンすると、全てのデーターフォーマットがクリアされます。



データーフォーマットエディットコメント

データーフォーマットエディットでは、読取データの編集位置を仮想カーソル (以下、カーソル) を移動させることで決定します。以下に説明するコメントにより、カーソル位置の移動、編集箇所の選択、置換、データ挿入を行い、最終出力データを作成します。

送信コメント

| | |
|--------|--|
| F1xx | 全てのキャラクタを送信 現在のカーソル位置以降の全てのデータを送信し、最後に指定されたキャラクタを付加送信します。xx には付加送信したいキャラクタの ASCII コードを指定します。 |
| F2nnxx | 指定桁数を送信 現在のカーソル位置から指定桁数のデータを送信し、最後に指定されたキャラクタを付加送信します。nn には、桁数 00~99 を指定し、xx には付加送信したいキャラクタの ASCII コードを指定します。 |

例) 123456890 という読取データを最初の 5 桁とそれ以降に分割し、それぞれ CR (0Dhex) を付加送信する場合

コメント : F2100DF10D

F2=コメント, 10=10 桁, 0D=CR, F1=コメント, 0D=CR

送信結果
12345<CR>
67890<CR>

英数字コード表



英数字コード表



| | |
|----------|---|
| B5xxssnn | キーコードを送信 キーコード又はジョystickキーコードを送信します。カーソルは、移動しません。xx には、キーを押す回数 (キーイベントは除く)、ss にはキーイベント (下表を参照)、nn にはキー番号を指定します。キー番号については、「補足 c. キー番号表」を参照ください。 |
|----------|---|

| キーイベント表 | |
|---------|----|
| 無し | 00 |
| 左 Shift | 01 |
| 右 Shift | 02 |
| 左 Alt | 04 |
| 右 Alt | 08 |
| 左 Ctrl | 10 |
| 右 Ctrl | 20 |

例) 104 キーボード (米国) の「A」を送信する場合 (PC の Caps lock はオフ状態とする)

コマンド : B501021F

B5=コマンド, 01=1桁, 02=右 Shift, 1F=「a」 (右 Shift+a=「A」)

移動コマンド

| | |
|------|---|
| F5nn | カーソルを指定キャラクタ分後方へ移動 カーソルを現在位置から指定キャラクタ分後方へ移動します。nn には、移動させるキャラクタ数 (00~99) を指定します。 |
| F6nn | カーソルを指定キャラクタ分前方へ移動 カーソルを現在位置から指定キャラクタ分前方へ移動します。nn には、移動させるキャラクタ数 (00~99) を指定します。 |
| F7 | カーソルを先頭に移動 カーソルを先頭に移動します。 |
| EA | カーソルを最終キャラクタに移動 カーソルを最終キャラクタに移動します。 |

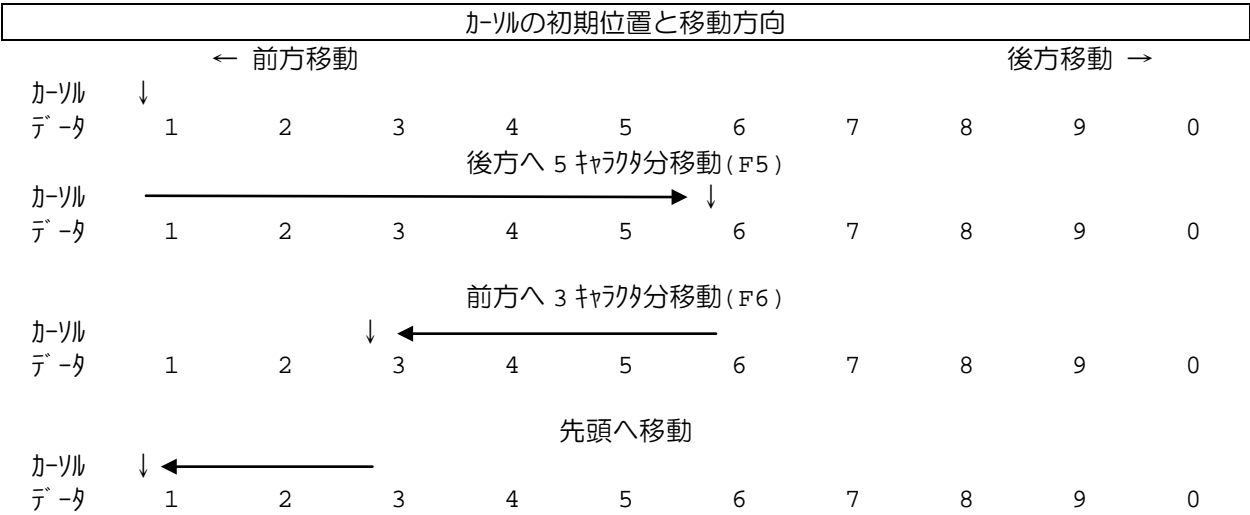
例) 123456890 という読取データで、カーソルを 3 つ前方へ移動した後、カーソル位置以降のデータを送信する場合

コマンド : F503F10D

送信結果
4567890<CR>

F5=コマンド, 03=3桁, F1=コマンド, 0D=CR

カーソルの移動方向に関して



英数字コード表



検索コマンド

| | |
|------|--|
| F8xx | 指定キャラクタを後方検索 現在のカーソル位置から指定キャラクタを後方検索します。指定キャラクタが見つかったら、カーソルをその前に移動します。xx には検索したいキャラクタの ASCII コードを指定します。 |
| F9xx | 指定キャラクタを前方検索 現在のカーソル位置から指定キャラクタを前方検索します。指定キャラクタが見つかったら、カーソルをその前に移動します。xx には検索したいキャラクタの ASCII コードを指定します。 |

例) 123456890 という読取データで、「4」を後方検索し、「4」を含むそれ以降のデータを送信する場合

コマンド : F834F10D 送信結果
4567890<CR>

F8=コマンド, 34=「4」, F1=コマンド, 0D=CR

| | |
|-------------|---|
| B0nnnns...s | 指定文字列の後方検索 現在のカーソル位置から指定文字列を後方検索します。指定文字列が見つかったら、カーソルをその前に移動します。nnnn には、検索文字列の桁数、s...s には文字列の ASCII コードを指定します。 |
| B1nnnns...s | 指定文字列の前方検索 現在のカーソル位置から指定文字列を前方検索します。指定文字列が見つかったら、カーソルをその前に移動します。nnnn には、検索文字列の桁数、s...s には文字列の ASCII コードを指定します。 |

例) 123456890 という読取データで、「45」を後方検索し、「45」を含むそれ以降のデータを送信する場合

コマンド : B000023435F10D 送信結果
4567890<CR>

B0=コマンド, 0002=2 桁, 3435=「45」, F1=コマンド, 0D=CR

| | |
|------|--|
| E6xx | 指定キャラクタを後方不一致検索 現在のカーソル位置から指定キャラクタを後方不一致検索します。指定キャラクタ以外が見つかったら、カーソルをその前に移動します。xx には検索したいキャラクタの ASCII コードを指定します。 |
| E7xx | 指定キャラクタを前方不一致検索 現在のカーソル位置から指定キャラクタを前方不一致検索します。指定キャラクタ以外が見つかったら、カーソルをその前に移動します。xx には検索したいキャラクタの ASCII コードを指定します。 |

例) 0000012345 という読取データで、「0」を後方不一致検索し、それ以降のデータを送信する場合

コマンド : E630F10D 送信結果
12345<CR>

F6=コマンド, 30=「0」, F1=コマンド, 0D=CR

その他コマンド

| | |
|-------------|---|
| FBnnxx...zz | 指定キャラクタを抑止 指定キャラクタを抑止します。カーソルは移動しません。nn には、指定するキャラクタ数、xx...zz には抑止したいキャラクタの ASCII コードを指定します。異なる 15 キャラクタまでを指定可能です。 |
| FC | 指定キャラクタ抑止の解除 指定キャラクタ抑止を解除します。カーソルは移動しません。 |

例) 123@456@890 という読取データで、「@」を抑止して、データを送信する場合

コマンド : FB0140F10D 送信結果
1234567890<CR>

FB=コマンド, 01=1 キャラクタ, 40=「@」, F1=コマンド, 0D=CR

英数字コード表



| | |
|---------------------------|---|
| E4nnxx1xx2yy1yy2...zz1zz2 | キャラクタを置換 キャラクタを指定キャラクタに置換します。カーソルは移動しません。nn には、置換するキャラクタ数、xx1xx2yy1yy2...zz1zz2 には抑止したい置換前のキャラクタとの置換後のキャラクタの ASCII コードを交互に指定します。異なる 15 キャラクタまでを置換可能です。 |
| E5 | キャラクタ置換の解除 キャラクタ置換を解除します。 |

例) 10203040 という読取データで、「0」を「@」に置換して、データを送信する場合

ｺﾏﾝﾄﾞ : E4023040F10D
 送信結果
1@2@3@4<CR>
 E4=ｺﾏﾝﾄﾞ, 02=2 キャラクタ, 30=「0」, 40=「@」, F1=ｺﾏﾝﾄﾞ, 0D=---

| | |
|-------------|---|
| FExx | 指定キャラクタの比較 現在のカーソル位置のキャラクタと指定キャラクタを比較します。指定キャラクタと同じであれば、カーソルをそのキャラクタの後ろに移動します。xx にはキャラクタの ASCII コードを指定します。 |
| B2nnnns...s | 指定文字列の比較 現在のカーソル位置の文字列と指定文字列を比較します。指定文字列と同じであれば、カーソルをその文字列の後ろに移動します。nnnn には、指定文字列の桁数、s...s には文字列の ASCII コードを指定します。 |

例) 「Test」という文字列を比較する場合

ｺﾏﾝﾄﾞ : B2000454657374
 B2=ｺﾏﾝﾄﾞ, 0004=4 桁, 54657374=「Test」

| | |
|----|---|
| EC | 数字データをチェック 現在のカーソル位置のキャラクタが数字であるかをチェックします。数字でない場合、処理をリセットします。 |
| ED | 数字データ以外かをチェック 現在のカーソル位置のキャラクタが数字以外であるかをチェックします。数字の場合、処理をリセットします。 |

例) 先頭キャラクタが数字の場合のみデータを送信する場合

ｺﾏﾝﾄﾞ : ECF10D
 送信結果
読取データ① : 123ABCD
123ABCD<CR>
読取データ② : ABCD123
先頭キャラクタが数字でないため、処理をリセット
次のフォーマット登録があれば、それを適用
なければ、生データ「ABCD123」がそのまま送信されます。
 EC=ｺﾏﾝﾄﾞ, F1=ｺﾏﾝﾄﾞ, 0D=CR

| | |
|--------|--|
| EFnnnn | デルイを挿入 デルイを挿入します。nnnn には、デルイを指定します。範囲は、0000~9999 で、設定単位は、5 ミリ秒 (9999x5=49995 ミリ秒) です。 |
| B8 | データを破棄 データを破棄します。 |

例) 先頭が A で始まる読取データを破棄する場合

ｺﾏﾝﾄﾞ : FE41B8
 FE=ｺﾏﾝﾄﾞ, 41=「A」, B8=ｺﾏﾝﾄﾞ

「注意」

- B8 ｺﾏﾝﾄﾞ は、全てのｺﾏﾝﾄﾞ を実行した最後に実行しなければいけません。
- B8 ｺﾏﾝﾄﾞ を実行する場合、「データフォーマット 有効(必須)」に設定しなければいけません。

英数字コード表



データフォーマットの有効化

登録したデータフォーマットを適用するには、データフォーマットを有効にする必要があります。用途に応じて、下記の何れかを有効にしてください。



~ D F M E N 0 .
「データフォーマット 無効」



~ D F M E N 1 .
「データフォーマット 有効, プリフィックス/サフィックス 有り」



~ D F M E N 2 .
「データフォーマット 有効(必須), プリフィックス/サフィックス 有り」



~ D F M E N 3 .
「データフォーマット 有効, プリフィックス/サフィックス 無し」



~ D F M E N 4 .
「データフォーマット 有効(必須), プリフィックス/サフィックス 無し」

基本データフォーマットと代替データフォーマット

リーダーには、4 つまでのデータフォーマットを登録することができます。基本データフォーマットは 0、代替データフォーマットは 1~3 に登録されます。下記からリーダーで使用するデータフォーマットをスキャンします。



~ R M V F N C 0 .
「基本データフォーマット」



~ R M V F N C 1 .
「代替データフォーマット 1」



~ R M V F N C 2 .
「代替データフォーマット 2」



~ R M V F N C 3 .
「代替データフォーマット 3」

9. 読取コードの設定

この章では、読取コードの各種パラメータ設定を行います。

全コード

リーダーが読み取っている全てのコードを読み取る場合は、「全コード 読み取り 有り」に設定します。



コードバー(NW7)



~ C B R D F T .
「全コードバー(NW7)設定を初期化」



~ C B R E N A 0 .
「コードバー(NW7)読み取り 無し」



~ C B R S S X 0 .
「スタート/ストップキャラクタ送信 無し」



~ C B R C K 2 1 .
「チェックディジット(016)検査 有り, 送信 無し」



~ C B R C C T 1 .
「連結読み取り 有り」



~ C B R C C T 2 .
「連結 必須」



~ C B R M A X .
「最大読取桁数」



~ C B R E N A 1 .
「コードバー(NW7)読み取り 有り」



~ C B R S S X 1 .
「スタート/ストップキャラクタ送信 有り」



~ C B R C K 2 0 .
「チェックディジット検査 無し」



~ C B R C K 2 2 .
「チェックディジット(016)検査 有り, 送信 有り」



~ C B R C C T 0 .
「連結読み取り 無し」



~ C B R M I N .
「最小読取桁数」

連結読み取り

ストップキャラクタ「D」で終わるコードとスタートキャラクタ「D」で始まるコードのデータを連結して一つのデータとして扱います。「必須」を設定した場合、連結対象以外のコードは読み取れません。



A 1 2 3 4 D



D 5 6 7 8 A

最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、2桁~60桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ4桁と60桁です。

数字コード表



コード 39



~ C 3 9 D F T .
「全コード 39 設定を初期化」



~ C 3 9 E N A 0 .
「コード 39 読み取り 無し」



~ C 3 9 A S C 0 .
「FLSK-読み取り 無し」



~ C 3 9 S S X 0 .
「スタート/ストップ キャラクタ送信 無し」



~ C 3 9 C K 2 1 .
「チェック デジット検査 有り, 送信 無し」



~ C 3 9 A P P 1 .
「パリティ モード 有り」



~ C 3 9 B 3 2 1 .
「コード 32 読み取り 有り」



~ C 3 9 M I N .
「最小読取桁数」



~ C 3 9 E N A 1 .
「コード 39 読み取り 有り」



~ C 3 9 A S C 1 .
「FLSK-読み取り 有り」



~ C 3 9 S S X 1 .
「スタート/ストップ キャラクタ送信 有り」



~ C 3 9 C K 2 0 .
「チェック デジット検査 無し」



~ C 3 9 C K 2 2 .
「チェック デジット検査 有り, 送信 有り」



~ C 3 9 A P P 0 .
「パリティ モード 無し」



~ C 3 9 B 3 2 0 .
「コード 32 読み取り 無し」



~ C 3 9 M A X .
「最大読取桁数」

最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、0 桁~48 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード 表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 0 桁と 48 桁です。

数字コード表



インターリーブド 2 オフ 5



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、2 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字」-「表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 80 桁です。

数字コード表



NEC 2桁 5



~ N 2 5 D F T .
「全 NEC 2桁 5 設定を初期化」



~ N 2 5 E N A 0 .
「NEC 2桁 5 読み取り 無し」



~ N 2 5 C K 2 1 .
「チェックディジット検査 有り, 送信 無し」



~ N 2 5 M I N .
「最小読取桁数」



~ N 2 5 E N A 1 .
「NEC 2桁 5 読み取り 有り」



~ N 2 5 C K 2 0 .
「チェックディジット検査 無し」



~ N 2 5 C K 2 2 .
「チェックディジット検査 有り, 送信 有り」



~ N 2 5 M A X .
「最大読取桁数」

最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、2 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をダイヤルし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をダイヤルして、最後に「確定」をダイヤルします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 80 桁です。

数字コード表



コード 93



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、0 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 0 桁と 80 桁です。

インダストリアル 2 オフ 5



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~48 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 48 桁です。

数字コード表



IATA 2 オフ 5



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~48 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 48 桁です。

マトリクス 2 オフ 5



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 80 桁です。

数字コード表



コード 128



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、0 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 0 桁と 80 桁です。

GS1-128



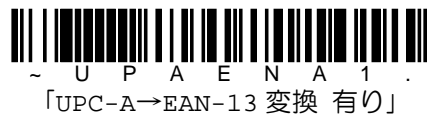
最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 800 桁です。

数字コード表



UPC-A



UPC-E



EAN/JAN-13



~ E 1 3 D F T .
「全 EAN/JAN-13 設定を初期化」



~ E 1 3 E N A 0 .
「EAN/JAN-13 読み取り 無し」



~ E 1 3 C K X 0 .
「チェックサム送信 無し」



~ E 1 3 I S B 1 .
「ISBN 変換 有り」



~ E 1 3 A D 2 0 .
「アド 2 読み取り 無し」



~ E 1 3 A D 5 0 .
「アド 5 読み取り 無し」



~ E 1 3 A R Q 0 .
「アドコード 必須読み取り 無し」



~ E 1 3 A D S 0 .
「アドオンセパレータ(スペース)挿入 無し」



~ E 1 3 E N A 1 .
「EAN/JAN-13 読み取り 有り」



~ E 1 3 C K X 1 .
「チェックサム送信 有り」



~ E 1 3 I S B 0 .
「ISBN 変換 無し」



~ E 1 3 A D 2 1 .
「アド 2 読み取り 有り」



~ E 1 3 A D 5 1 .
「アド 5 読み取り 有り」



~ E 1 3 A R Q 1 .
「アドコード 必須読み取り 有り」



~ E 1 3 A D S 1 .
「アドオンセパレータ(スペース)挿入 有り」

EAN/JAN-8



~ E A 8 D F T .
「全 EAN/JAN-8 設定を初期化」



~ E A 8 E N A 0 .
「EAN/JAN-8 読み取り 無し」



~ E A 8 C K X 0 .
「チェックデジット送信 無し」



~ E A 8 A D 2 0 .
「アドオン2 読み取り 無し」



~ E A 8 A D 5 0 .
「アドオン5 読み取り 無し」



~ E A 8 A R Q 0 .
「アドオンコード 必須読み取り 無し」



~ E A 8 A D S 0 .
「アドオンセパレータ(スペース)挿入 無し」



~ E A 8 E N A 1 .
「EAN/JAN-8 読み取り 有り」



~ E A 8 C K X 1 .
「チェックデジット送信 有り」



~ E A 8 A D 2 1 .
「アドオン2 読み取り 有り」



~ E A 8 A D 5 1 .
「アドオン5 読み取り 有り」



~ E A 8 A R Q 1 .
「アドオンコード 必須読み取り 有り」



~ E A 8 A D S 1 .
「アドオンセパレータ(スペース)挿入 有り」

MSI



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、4 桁~48 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をキヤリし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をキヤリして、最後に「確定」をキヤリします。読取桁数を固定としたい場合は、最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 48 桁です。

数字コード表



GS1 Databar Omnidirectional



~ R S S D F T .

「全 GS1 Databar Omnidirectional 設定を初期化」



~ R S S E N A 0 .

「Databar Omnidirectional 読み取り 無し」



~ R S S E N A 1 .

「Databar Omnidirectional 読み取り 有り」

GS1 Databar Limited



~ R S L D F T .

「全 GS1 Databar Limited 設定を初期化」



~ R S L E N A 0 .

「Databar Limited 読み取り 無し」



~ R S L E N A 1 .

「Databar Limited 読み取り 有り」

GS1 Databar Expanded



~ R S E D F T .

「全 GS1 Databar Expanded 設定を初期化」



~ R S E E N A 0 .

「Databar Expanded 読み取り 無し」



~ R S E E N A 1 .

「Databar Expanded 読み取り 有り」



~ R S E M I N .

「最小読取桁数」



~ R S E M A X .

「最大読取桁数」

最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、4 桁~74 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 74 桁です。

数字コード表



Codablock A



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~600 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 600 桁です。

Codablock F



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~2048 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 2048 桁です。

数字コード表



PDF417



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~2750 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をダイヤルし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をダイヤルして、最後に「確定」をダイヤルします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 2750 桁です。

MacroPDF417



MicroPDF417



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~366 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をダイヤルし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をダイヤルして、最後に「確定」をダイヤルします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 366 桁です。

数字コード表



GS1 Composite



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~2435 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 2435 桁です。

GS1 拡張



全てのリールコード (UPC/EAN) は、16 桁に拡張されます。AIM コード ID が有効な場合は、GS1 Databar の AIM コード ID 1em が適用されます。

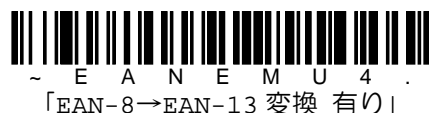


全てのリールコード (UPC/EAN) は、16 桁に拡張されます。AIM コード ID が有効な場合は、GS1-128 の AIM コード ID 1C1 が適用されます。



16 桁への拡張は行わず、UPC-E0 拡張の設定値が適用されます。AIM コード ID が有効な場合は、GS1-128 の AIM コード ID 1C1 が適用されます。

EAN-8 を EAN-13 に変換します。



上記全ての GS1 拡張を行いません。

数字コード表



TLC39



QR コード



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~7089 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 7089 桁です。

数字コード表



Data Matrix



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~3116 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 3116 桁です。

MaxiCode



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~150 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 150 桁です。

数字コード表



Aztec コード



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~3832 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 3832 桁です。

MaxiCode



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~150 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 150 桁です。

数字コード表



郵便コード



~ P O S T A L 0 .
「全郵便コード 読み取り 無し」



~ P O S T A L 7 .
「イギリス郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 1 0 .
「インテリジェントメールバースコード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 4 .
「KIX 郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 9 .
「Postal-4i 読み取り 有り」



~ P O S T A L 1 .
「オーストラリア郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 3 0 .
「カナダ 郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 3 .
「日本郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 5 .
「Planet コード 読み取り 有り」

10. イメージングコマンド

リーダーは、デジタライザーと同じようにイメージをキャプチャ後、様々な処理を実行し、それを転送します。ここで説明するイメージングコマンドにより、ホストの指示に従って、それらの処理を実行することが可能になります。

イメージングコマンドは、ひとつのイメージキャプチャに対してのみ、効力を持ち、一度イメージキャプチャを完了すると、リーダーは、それらの設定をデフォルトに戻します。恒久的に設定を維持したい場合は、シリアルコマンドを使用する必要があります。シリアルコマンドについては、「11. シリアルコマンド」を参照ください。

コマンド書式

一度のセッションで複数のコマンドを発行することができます。追加のコマンドを同じコマンドに対して適用する場合、そのコマンドにそのコマンドをそのまま追加するだけです。例えば、イメージスナップコマンド「IMGSNP」にイメージスタイル指定「1P」とトリガ待ち指定「1T」の2つのコマンドを追加する場合、「IMGSNP1P1T」とします。

「参考」

イメージスナップコマンド「IMGSNP」を実行した後、メモリ内のイメージを取得するため、イメージシフコマンド「IMGSHF」を発行する必要があります。

1つのセッションにコマンドを追加する場合は、コマンドセパレーターとして、セミコロン「;」を使用します。例えば、上記のセッションにイメージシフコマンドを追加する場合、「IMGSNP1P1T;IMGSHF」となります。

イメージスナップコマンド IMGSNP

イメージシフコマンド IMGSHF

(*) 各コマンドの後ろには、コマンドが続きます。詳細は、各コマンドの説明を参照ください。

「注意」

本書の説明で使用しているイメージ例は、説明のためのサンプルイメージです。実際には、異なるイメージが得られます。また、イメージの品質についても、周囲照度や撮影距離など、様々な環境変化に影響されます。高品質なイメージを取得するには、リーダーと被写体の距離を102mm~152mmの範囲内にすることを推奨します。

イメージを撮影する：イメージスナップコマンド - IMGSNP

イメージの撮影は、トリガボタンを押すか、イメージスナップコマンド「IMGSNP」を発行することで行えます。

イメージスナップコマンドには、イメージの見た目に影響を与える多数のコマンドが用意されており、任意数のコマンドを指定することが可能です。例えば、ゲインを増やし、イメージ撮影完了時にビープを鳴動させたい場合、「IMGSNP2G1B」と指定します。

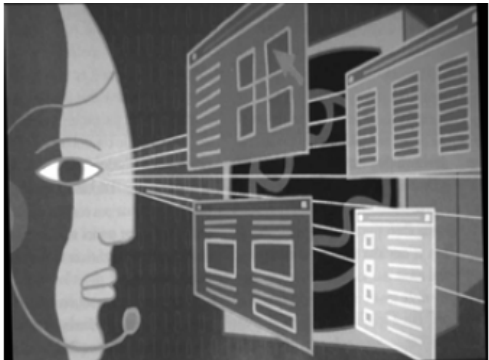

IMGSNP コマンド




| P | イメージスタイル |
|-----------------|---|
| イメージスタイルを指定します。 | |
| 0P | <u>デコーディングスタイル</u> この処理では、露出パラメータに合致するまで、いくつかのフレームが取り込まれ、最後のフレームがその後の処理のために採用されます。 |
| 1P | <u>フォトスタイル(デフォルト)</u> シンプルなデジタライザーのように動作し、イメージは視覚的に最適化されます。 |
| 2P | <u>マニュアルスタイル</u> 全ての設定を自由にマニュアルで行うモードで、自動露出もありません。 |




| B ビープ | |
|----------------|------------------------------------|
| 撮影後のビープを指定します。 | |
| 0B | <u>ビープ無し(デフォルト)</u> ビープを鳴らしません。 |
| 1B | <u>ビープ有り</u> ビープを鳴らします。 |

| T トリガ待ち | |
|---|--|
| 撮影前のトリガ待ちを指定します。この設定は、フォトスタイル「1P」でのみ使用できます。 | |
| 0T | <u>トリガ待ち無し(デフォルト)</u> トリガが押されるのを待たず、直ちに撮影を行います。 |
| 1T | <u>トリガ待ち有り</u> トリガが押されるまで、撮影を行いません。 |

| L LED 照明 | |
|--|---|
| LED 照明を指定します。この設定は、デコーディングスタイル「0P」では使用できません。 | |
| 0L | <u>LED 照明無し(デフォルト)</u> LED 照明を点灯しません。スタジオに固定した状態で、ID カード などカード キットを撮影する場合に好まれます。 |
| 1L | <u>LED 照明有り</u> LED 照明を点灯します。ハットライト運用で好まれます。 |

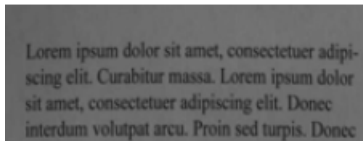
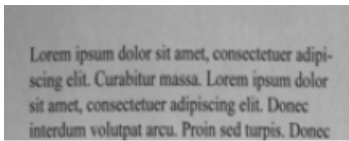
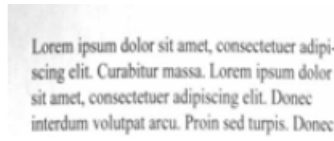
| E 露出時間 | |
|--|---|
| 露出時間を指定します。マニュアルスタイル「2P」でのみ使用できます。 | |
| nE | <u>露出(デフォルト n=7874)</u> カメラのシャッタースピードと同様で、イメージを記録するまでに要する時間を指定します。明るい日中であれば、十分な光によりイメージを記録できるため、露出時間を最小限に短くすることができます。反対に、暗い夜間の場合、光が不足するため、露光時間を劇的に増加させる必要があります。指定範囲は、n=1~7874 で、単位は、127 マイクロ秒です。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 露出時間 7874E, 蛍光灯下</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 露出時間 100E, 蛍光灯下</p>  </div> </div> | |

| G ゲイン | | |
|-----------------------------------|---|---|
| ゲインを指定します。マニュアルスタイル「2P」でのみ使用できます。 | | |
| nG | <u>ゲイン(デフォルト n=64)</u> 音量をコントロールするような感じで、シグナルをブーストし、ゲインによりピクセル値を増加させます。ゲインを大きくすると、それに伴いイメージ内のノイズも増幅します。指定は、n=40 (小ゲイン)、n=64 (中ゲイン)、n=96 (大ゲイン) の何れかです。 | |
| | イメージ例 40G  | イメージ例 64G  |
| | | イメージ例 96G  |

| Wターゲット輝度値 | | | |
|---|---|---|---|
| ターゲット輝度値を指定します。フォトスタイル「1P」でのみ使用できます。 | | | |
| nW | 輝度値(デフォルト n=90) 撮影したイメージのターゲット輝度値(グレースケール中央値)を指定します。ハイコントラスト文書を近接撮影(クローズアップ/大写し)する場合、75のような低めの値を指定します。高めの値は、より長い露出時間とより明るいイメージとなりますが、高すぎると、イメージは露出過度となってしまいます。指定範囲は、n=0~255です。 | | |
| イメージ例 40G | | イメージ例 64G | イメージ例 96G |
|  | |  |  |

| D許容デルタ | |
|-----------------------------------|--|
| 許容デルタを指定します。フォトスタイル「1P」でのみ使用できます。 | |
| nD | 許容デルタ(デフォルト n=25) 許容デルタは、ターゲット輝度値設定(Wターゲット輝度値を参照)の許容範囲を指定します。指定範囲は、n=0~255です。 |

| U更新回数 | |
|----------------------------------|---|
| 更新回数を指定します。フォトスタイル「1P」でのみ使用できます。 | |
| nU | 更新回数(デフォルト n=6) 許容デルタを達成するために取り込む最大フレーム数を指定します。指定範囲は、n=0~10です。 |

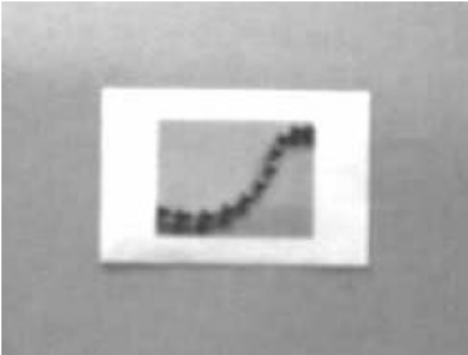
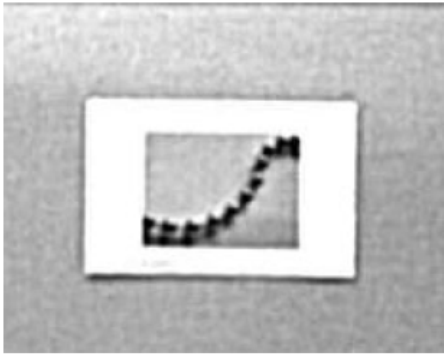


| %ターゲットポイントパーセンテージ | | |
|---|--|---|
| ターゲットポイントパーセンテージを指定します。 | | |
| n% | ターゲットポイントパーセンテージ(デフォルト n=50) 取り込んだイメージの明暗値のターゲットポイントをパーセンテージで指定します。75%は、ピクセルの75%がターゲット輝度値以下で、残りの25%がそれを超えることを意味します。通常的环境下、デフォルトのまま使用することを推奨します。グレースケール値を変更する場合は、「Wターゲット輝度値」を使用します。指定範囲は、n=1~99です。 | |
| イメージ例 97% | イメージ例 50% | イメージ例 40% |
|  |  |  |



イメージを送信する：イメージマップコマンド - IMGSHR

最後に撮影されたイメージがリダのメモリ内に常に格納されています。このイメージは、イメージマップコマンド「IMGSHR」を発行することで送信できます。

イメージマップコマンドには、イメージの見た目に影響を与える多数のオプションが用意されており、任意数のオプションを指定することが可能です。但し、これらのオプションは、送信するイメージに対してのみ影響し、メモリ内のイメージには、影響しません。例えば、イメージを撮影し、そのイメージをガンマ補正とドキュメントイメージフィルタリングを行って、ビットマップとして送信したい場合、「IMGSHR;IMGSHR8F75K26U」と指定します。

IMGSHR オプション

| A 無限遠フィルタ | |
|---|--|
| 無限遠フィルタを指定します。無限遠フィルタを使用することで、非常に遠距離 (3m 以上) から撮影したイメージの質を向上させることができます。無限遠フィルタを IMGSHR オプションと共に使用することはできません。 | |
| 0A | <u>無限遠フィルタ無し(デフォルト)</u> 無限遠フィルタを使用しません。 |
| 1A | <u>無限遠フィルタ有り</u> 無限遠フィルタを使用します。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 無限遠フィルタ無し (3.66m から撮影)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 無限遠フィルタ有り (3.66m から撮影)</p>  </div> </div> | |
| C 補正 | |
| 補正を指定します。補正を使用することで、照明の変化を考慮したイメージのフラット化が行えます。 | |
| 0C | <u>補正無し(デフォルト)</u> 補正を行いません。 |
| 1C | <u>補正有り</u> 補正を行います。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 補正無し</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 補正有り</p>  </div> </div> | |
| D ビット濃度 | |
| ビット濃度を指定します。 | |
| 8D | <u>8ビット(デフォルト)</u> ビット濃度あたり 8ビットのグレースケールイメージにします。 |
| 1D | <u>1ビット</u> ビット濃度あたり 1ビットの白黒イメージにします。 |


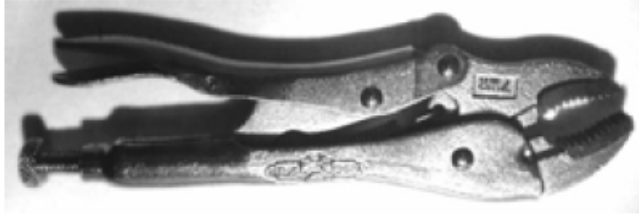


| E エッジシャープフィルタ | |
|---|---|
| エッジシャープフィルタを指定します。エッジシャープフィルタを使用することで、イメージのエッジ（輪郭）をくっきりさせることができます。但し、イメージは鮮明になりますが、撮影された細かな部分も取り除かれることになります。 | |
| 0E | <u>エッジシャープフィルタ無し(デフォルト)</u> エッジシャープフィルタを使用しません。 |
| nE | <u>エッジシャープフィルタ</u> エッジシャープフィルタを使用します。指定範囲は、n=1~24 で、数値を大きくするほど鮮明度は高くなりますが、同時にイメージ中のノイズも増加します。一般的なイメージであれば、14 を指定すると良いでしょう。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 エッジシャープフィルタ無し</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 エッジシャープフィルタ有り (24E)</p>  </div> </div> | |

| F ファイルフォーマット | |
|----------------------------|---|
| ファイルフォーマットを指定します。 | |
| 0F | KIM フォーマット |
| 1F | TIFF バイナリ |
| 2F | TIFF バイナリグループ 4, 圧縮 |
| 3F | TIFF グレースケール |
| 4F | 非圧縮バイナリ (左上から右下, 1ピクセル/ビット, 行最後を0パディング) |
| 5F | 非圧縮グレースケール (左上から右下, ビットマップフォーマット) |
| 6F | JPEG イメージ (デフォルト) |
| 8F | BMP フォーマット (左上から右下, 非圧縮) |
| 15F | BMP 非圧縮未加工イメージ |



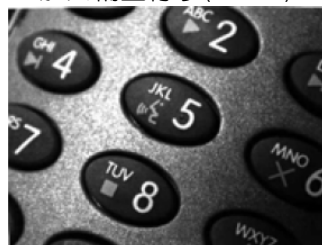






| H ヒストグラムストレッチ | |
|---|--|
| ヒストグラムストレッチを指定します。ヒストグラムストレッチを使用することで、イメージのコントラストを高めることができます。いくつかのイメージフォーマットには、対応していません。 | |
| 0H | <u>ヒストグラムストレッチ無し(デフォルト)</u> ヒストグラムストレッチを使用しません。 |
| 1H | <u>ヒストグラムストレッチ有り</u> ヒストグラムストレッチを使用します。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 ヒストグラムストレッチ無し</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 ヒストグラムストレッチ有り</p>  </div> </div> | |

| I イメ-ジ 反転 | | |
|--|---|---|
| イメ-ジ 反転を指定します | | |
| lix | x 軸に対してイメ-ジ を反転(イメ-ジ の上下反転) | |
| liy | y 軸に対してイメ-ジ を反転(イメ-ジ の左右反転) | |
| <div>イメ-ジ 例 イメ-ジ 反転無し</div>  | <div>イメ-ジ 例 イメ-ジ 上下反転(lix)</div>  | <div>イメ-ジ 例 イメ-ジ 左右反転(liy)</div>  |




| IF ノイズ低減 | |
|---|--|
| ノイズ低減を指定します。ノイズ低減を使用することで、イメージの白黒ノイズを低減できます。 | |
| 0if | <u>ノイズ低減無し(デフォルト)</u> ノイズ低減を使用しません。 |
| 1if | <u>ノイズ低減有り</u> ノイズ低減を使用します。 |
| <div> <div> <p>イメージ例 ノイズ低減無し</p>  </div> <div> <p>イメージ例 ノイズ低減有り</p>  </div> </div> <div></div> | |

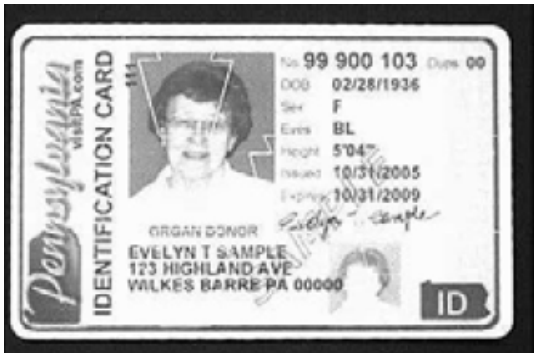
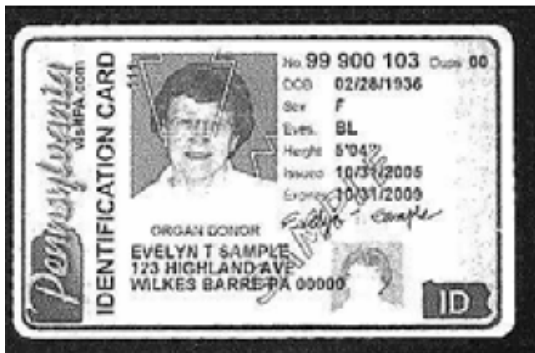
| IR イメージ回転 | |
|--|--------------------|
| イメージ回転を指定します。 | |
| 0ir | イメージ回転無し(デフォルト) |
| 1ir | イメージ 90° 右回転 |
| 2ir | イメージ 180° 回転(上下反転) |
| 3ir | イメージ 90° 左回転 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 イメージ回転無し(0ir)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 イメージ 180° 回転(2ir)</p>  </div> </div> | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 イメージ 90° 右回転(1ir)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 イメージ 90° 左回転(3ir)</p>  </div> </div> | |

| J JPEG イメージ品質 | |
|--|---|
| JPEG イメージ品質を指定します。ファイルフォーマットが JPEG の場合に使用できます。 | |
| nJ | <p><u>JPEG イメージ品質(デフォルト n=50)</u></p> <p>JPEG イメージの品質を指定します。大きい値ほど高品質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。小さい値にすると、圧縮量が大きくなるため品質が落ちますが、ファイルサイズは小さくなり、送信時間も短くなります。指定範囲は、n=0~100 です。</p> |

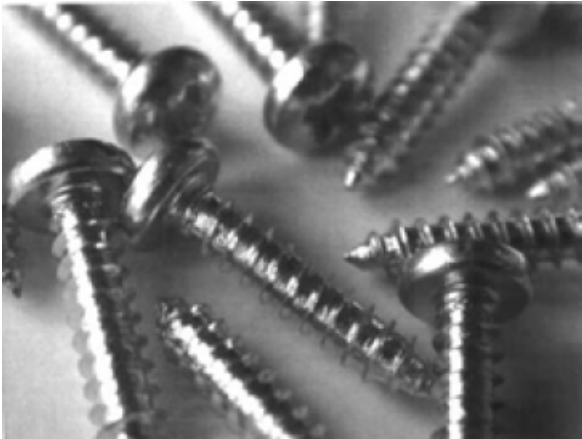

| | | |
|---|--|--|
| K ガソ補正 | | |
| ガソ補正を指定します。 | | |
| nK | <u>ガソ補正(デフォルト n=0)</u> ガソ補正を指定します。ガソ補正を使用することで、イメージを明るくしたり、暗くしたりすることができます。大きい値ほど明るくなり、小さい値ほど暗いイメージになります。指定範囲は、n=0~1000 で、標準的な文書イメージを明るく補正する場合、50 が適しています。 | |
| <div><div><div>イメージ例 ガソ補正無し(0K)</div></div><div><div>イメージ例 ガソ補正有り(50K)</div></div><div><div>イメージ例 ガソ補正有り(255K)</div></div></div> | | |
| L,R,T,B,M イメージ切り取り | | |
| イメージ切り取りを指定します。上下左右のピクセル座標を指定し、その範囲のイメージのみ切り取って送信します。イメージの列には、0~1279、行には、0~959 の番号が付けられています。 | | |
| nL | <u>左端(デフォルト n=0)</u> メモリ内イメージの n 列に対応する左端を指定します。指定範囲は、n=0~843 です。 | |
| nR | <u>右端(デフォルト n=全列)</u> メモリ内イメージの n-1 列に対応する右端を指定します。指定範囲は、n=0~843 です。 | |
| nT | <u>上端(デフォルト n=0)</u> メモリ内イメージの n 行に対応する上端を指定します。指定範囲は、n=0~639 です。 | |
| nB | <u>下端(デフォルト n=全行)</u> メモリ内イメージの n-1 行に対応する上端を指定します。指定範囲は、n=0~639 です。 | |
| <div><div><div>イメージ例 切り取り無し</div></div><div><div>イメージ例 300R</div></div><div><div>イメージ例 300L</div></div></div> | | |
| <div><div><div>イメージ例 200B</div></div><div><div>イメージ例 300T</div></div></div> | | |
| 代わりに、イメージの外側マージンからの切り取りピクセル数を指定すると、中央のピクセルのみが送信されます。 | | |
| nM | <u>マージン(デフォルト n=0 又はイメージ全体)</u> イメージの左から n 列、右から n+1 列、上から n 行、下から n+1 行切り取り、残った中央のピクセルを送信します。指定範囲は、n=0~238 です。 | |
| <div><div>イメージ例 238M</div></div> | | |

| P 送信フォーマット | |
|-----------------|---------------------------|
| 送信フォーマットを指定します。 | |
| 0P | フォーマット無し(生データ) |
| 2P | フォーマット無し(USB のデフォルト) |
| 3P | 圧縮 H フォーマット(RS232 のデフォルト) |
| 4P | H フォーマット |

| S ピクセル送信 | |
|---|-----------------|
| ピクセル送信を指定します。ピクセル送信は、一定間隔毎のピクセルのみを送信することで、リザルカライズに対して比例縮小したイメージを送信します。例えば、4S は、縦横共に 4 ピクセル毎に送信します。ピクセルを間引くことで、イメージをより小さくすることができますが、限界点を超すと、使用不可能な価値の無いイメージとなってしまいます。 | |
| 1S | 全ピクセル送信(デフォルト) |
| 2S | 縦横共に 2 ピクセル毎に送信 |
| 3S | 縦横共に 3 ピクセル毎に送信 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 1S</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 2S</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 3S</p>  </div> </div> | |

| U ドキュメントイメージフィルタ | |
|---|---|
| ドキュメントイメージフィルタを指定します。ドキュメントイメージフィルタは、イメージ内のテキストの縁をシャープにし、それ以外の分部を滑らかにします。このフィルタは、ガウス補正と共に使用すべきもので、リーダーをスタンドに設置した状態で、下記のコマンドを使って、イメージ撮影を行います。 | |
| IMGSNP1P0L168W90%32D | |
| このフィルタは、通常、「E イッジシャープフィルタ」よりも良好な JPEG 圧縮イメージを得ることができます。また、このフィルタは、完全な白黒イメージ(1 ビット/ピクセル)を送信する場合にも有効です。 | |
| nS | <p><u>ドキュメントイメージフィルタ(デフォルト n=0)</u></p> <p>グレースケールレシオ n を指定します。イメージのコントラストが低い場合は、小さい値を指定します。1U を指定した場合、エッジシャープフィルタを 22E に指定した場合と同様の効果が得られます。標準的なドキュメントイメージの場合、最適設定は、26U です。</p> |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 0U</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 26U</p>  </div> </div> | |

| v 画像ぼかし | |
|---|----------------|
| 画像ぼかしを指定します。画像ぼかしは、陰影領域と境界線に隣接するピクセルを平均化して滑らかにします。 | |
| 0V | 画像ぼかし無し(デフォルト) |
| 1V | 画像ぼかし有り |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 画像ぼかし無し</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 画像ぼかし有り</p>  </div> </div> | |

| w ヒストグラム送信 | |
|--|-------------------|
| ヒストグラム送信を指定します。ヒストグラムは、イメージの色調範囲(又はキータイト)を簡潔に表したイメージ画像です。低いキータイトは影に、高いキータイトはハイライトに、平均的なキータイトは中間調に詳細が集中します。 | |
| 0W | ヒストグラム送信無し(デフォルト) |
| 1W | ヒストグラム送信有り |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 ヒストグラム送信無し</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イメージ例 ヒストグラム送信有り(左側に集中)</p>  </div> </div> | |

| イメージサイズ |
|--|
| ヒストグラム送信を指定します。ヒストグラムは、イメージの色調範囲(又はキータイト)を簡潔に表したイメージ画像です。低いキータイトは影に、高いキータイトはハイライトに、平均的なキータイトは中間調に詳細が集中します。 |

11. シリアルコマンド

シリアルコマンドを発行することにより、リーダーの設定変更を行ったり、設定値を取得することができます。シリアルコマンドは、リーダーがRS232Cインターフェイス又はUSBシリアルインターフェイスで接続されている場合にのみ有効です。

尚、メニュー及びクエリコマンドの説明には、下記の記述方法を用いています。

- コマンドのオプション部分は、[]で囲んでいます。
- コマンドのデータ部分(設定値など)は、{ } で囲んでいます

メニューコマンドの書式

下記にメニューコマンドの書式を示します。(見やすいため、スペースを用いていますが、実際にはスペースは入りません)

プレフィックス タグ サブタグ {データ} [, サブタグ {データ}] [; タグ サブタグ {データ}] [...] ストレージ

| フィールド名 | 説明 | | | | | | | | |
|---------|---|-------|--|-----|---|----|-------|-------|-------|
| プレフィックス | プレフィックスは、下記の3バイト固定です。 <table><tr><td>SYN</td><td>M</td><td>CR</td></tr><tr><td>16hex</td><td>4Dhex</td><td>1Dhex</td></tr></table> | | | SYN | M | CR | 16hex | 4Dhex | 1Dhex |
| SYN | M | CR | | | | | | | |
| 16hex | 4Dhex | 1Dhex | | | | | | | |
| タグ | メニューコマンドグループを識別するための3バイトのグループIDを指定します。大文字・小文字の区別はありません。例えば、RS232Cに関するメニューコマンドグループのグループIDは、下記の3バイトになります。 <table><tr><td>2</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>32hex</td><td>33hex</td><td>32hex</td></tr></table> | | | 2 | 3 | 2 | 32hex | 33hex | 32hex |
| 2 | 3 | 2 | | | | | | | |
| 32hex | 33hex | 32hex | | | | | | | |
| サブタグ | メニューコマンドグループ内のコマンドを識別するための3バイトのコマンドIDを指定します。大文字・小文字の区別はありません。例えば、RS232CのポートのコマンドIDは、下記の3バイトになります。 <table><tr><td>B</td><td>A</td><td>D</td></tr><tr><td>42hex</td><td>41hex</td><td>44hex</td></tr></table> | | | B | A | D | 42hex | 41hex | 44hex |
| B | A | D | | | | | | | |
| 42hex | 41hex | 44hex | | | | | | | |
| データ | タグ及びサブタグで指定されたメニューコマンドの新しい設定値を指定します。 | | | | | | | | |
| ストレージ | コマンドを適用する保存場所を示す下記の何れかのキャラクタ1バイトを指定します。 <div>!(21hex)揮発性メモリ</div> <div>.(2Ehex)不揮発性メモリ</div> リーダの電源を再起動した場合も保持したい設定の場合は、不揮発性メモリを指定します。 | | | | | | | | |

クエリコマンド

クエリコマンドは、現在の設定値など、リーダーから情報を取得したい場合に使用します。下記のクエリコマンドが使用可能です。

| | |
|---|------------------------------|
| ^ (5Ehex) | 対象となるコマンド(設定項目)のデフォルト値を取得 |
| ? (3Fhex) | 対象となるコマンド(設定項目)の現在の設定値を取得 |
| * (2Ahex) | 対象となるコマンド(設定項目)の設定値の範囲を取得(*) |
| (*)連続した設定範囲の場合は、ダッシュ「-」(2Dhex)、連続しない場合は、パイプ「 」(7Chex)で区切られます。 | |

タグフィールドの使い方

タグフィールドでクエリコマンドを使用した場合、利用可能なコマンド全てが対象範囲となります。返送される設定値は、ストレージフィールドで指定した保存場所にある値となります。この場合、サブタグ及びデータフィールドは指定しないでください(リーダーは無視します)。

サブタグフィールドの使い方

サブタグフィールドでクエリコマンドを使用した場合、タグフィールドで指定したコマンドグループが対象範囲となります。返送される設定値は、ストレージフィールドで指定した保存場所にある値となります。この場合、データフィールドは指定しないでください(リーダーは無視します)。

デ-タフィールドの使い方

デ-タフィールドでクエリコマンドを使用した場合、タグフィールドとサブタグフィールドで指定した特定コマンドのみが対象範囲となります。返送される設定値は、ストレージフィールドで指定した保存場所にある値となります。

複数コマンドの連結方法

複数のコマンドを連結し、1つのプリフィックス-ストレージシークスとして発行することができます。このシークスでは、各コマンドのタグ/サブタグ/デ-タフィールドのみを繰り返し指定します。新しい追加コマンドを同一タグに対して適用するケースでは、そのコマンドをカンマ(,)で区切り、サブタグ/デ-タフィールドのみを指定します。また、新しい追加コマンドを異なるタグに対して適用するケースでは、そのコマンドをセミコロン(;)で区切ります。

ハットシェイクキャラクタ

リアルコマンドに対して、リダは、下記の何れかのハットシェイクキャラクタをレスポンスとしてコマンドIDに挿入して返します。

| | |
|------------|--|
| ACK(06hex) | コマンドを正しく処理しました。 |
| ENQ(05hex) | 無効なタグ又はサブタグです。 |
| NAK(15hex) | コマンドは正しいですが、デ-タフィールドに指定タグ/サブタグの適用範囲外の値が指定されています。 |

リダは、受信したコマンドシークスをIDパックし、ストレージフィールド又は連結区切り記号(ピリオド, 感嘆符, コマ, セミコロン)の前に、何れかのハットシェイクキャラクタを挿入して返送します。

クエリコマンド例

下記の例では、制御コードを<>で囲んで表示しています(例 <ACK> = 06hex)。

例1) コーダバ- (NW7) 読み取り設定で設定可能な値は？

| | |
|--|--------------------|
| コマンド | <SYN>M<CR>cbrena*. |
| レスポンス | CBRENA0-1<ACK>. |
| コーダバ- (NW7) 読み取り設定では、読み取り有り(1)又は無し(0)の設定に限られるため、「0-1」を返送します。 | |

例2) コーダバ- (NW7) 読み取り設定のデフォルト値は？

| | |
|--|--------------------|
| コマンド | <SYN>M<CR>cbrena^. |
| レスポンス | CBRENA1<ACK>. |
| コーダバ- (NW7) 読み取り設定のデフォルト値は、読み取り有り(1)のため、「1」を返送します。 | |

例3) コーダバ- (NW7) 読み取り設定の現在設定値は？

| | |
|--|--------------------|
| コマンド | <SYN>M<CR>cbrena?. |
| レスポンス | CBRENA1<ACK>. |
| コーダバ- (NW7) 読み取り設定の現在設定値が読み取り有り(1)のため、「1」を返送します。 | |

例4) コーダバ- (NW7) 関連の全現在設定値は？

| | | |
|-------|-----------------|-------------------|
| コマンド | <SYN>M<CR>cbr?. | |
| レスポンス | CBRDFT<ACK>. | デフォルト値 値無し |
| | ENA1<ACK>. | コーダバ-読み取り有り(1) |
| | SSX0<ACK>. | スタート/ストップ 送信無し(0) |
| | CK20<ACK>. | チェックビット検査無し(0) |
| | CCT0<ACK>. | 連結機能無し(0) |
| | MIN4<ACK>. | 読取最小桁数 4 桁(4) |
| | MAX60<ACK>. | 読取最大桁数 60 桁(60) |
| | VOT0<ACK>. | 読取照合回数 10 回(10) |

メニューコマンドリスト

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | シリアルコマンド #には、数字を指定 |
|-----------|---|-----------------------|
| リセットデフォルト | | |
| カスタムデフォルト | カスタムデフォルトを設定開始 | MNUCDF |
| | カスタムデフォルトを設定終了(保存) | MNUCDS |
| | カスタムデフォルトで初期化 | DEFAULT |
| インターフェイス | | |
| プラグアンドプレイ | キーボードインターフェイス: IBM AT互換, サフィックス CR | PAP_AT |
| | キーボードインターフェイス: ノートブック(外付キーボード無し), サフィックス CR | PAPLTD |
| | RS232C インターフェイス | PAP232 |
| | USB IBM SurePos ハンドヘルド | PAPSPH |
| | USB IBM SurePos テーブルトップ | PAPSPT |
| | USB キーボードインターフェイス(USA) | PAP124 |
| | USB キーボードインターフェイス(MAC) | PAP125 |
| | USB キーボードインターフェイス(日本) | TRMUSB134 |
| | HID POS | PAP131 |
| | USB シリアルインターフェイス | TERMID130 |
| | ACK/NAK ハンドシェイク有り | USBACK1 |
| | ACK/NAK ハンドシェイク無し | USBACK0 |
| | Verifone Ruby Terminal | PAPRBY |
| | Gilbarco Terminal | PAPGLB |
| | Honeywell Bioptic Aux Port | PAPBIO |
| | Datalogic Magellan Bioptic Aux Port | PAPMAG |
| | NCR Bioptic Aux Port | PAPNCR |
| | Wincor Nixdorf Terminal | PAPWNX |
| | Wincor Nixdorf Beetle | PAPBTL |
| | Wincor Nixdorf RS232 Mode A | PAPWMA |
| 国別キーボード | *USA | KBDCTY0 |
| | アルバニア | KBDCTY35 |
| | アゼルバイジャン(キリル) | KBDCTY81 |
| | アゼルバイジャン(ラテン) | KBDCTY80 |
| | ベルギー | KBDCTY82 |
| | ベルギー | KBDCTY1 |
| | ボスニア | KBDCTY33 |
| | ブラジル | KBDCTY16 |
| | ブラジル(MS) | KBDCTY59 |
| | ブルガリア(キリル) | KBDCTY52 |
| | ブルガリア(ラテン) | KBDCTY53 |
| | カナダ(フレンチカナダ) | KBDCTY54 |
| | カナダ(フレンチ) | KBDCTY18 |
| | カナダ(マルチリンガル) | KBDCTY55 |
| | クロアチア | KBDCTY32 |
| | チロ | KBDCTY15 |
| | チロ(ドイツラマーズ) | KBDCTY40 |
| | チロ(QWERTY) | KBDCTY39 |
| | チロ(QWERTZ) | KBDCTY38 |
| | デンマーク | KBDCTY8 |
| | オランダ(Netherlands) | KBDCTY11 |
| | エストニア | KBDCTY41 |
| | フェロエ島(Faeroese) | KBDCTY83 |
| | フィンランド | KBDCTY2 |
| | フランス | KBDCTY3 |
| | ゲール | KBDCTY84 |
| | ドイツ | KBDCTY4 |
| | ギリシャ | KBDCTY17 |
| | ギリシャ(220 ラテン) | KBDCTY64 |
| | ギリシャ(220) | KBDCTY61 |
| | ギリシャ(319 ラテン) | KBDCTY65 |
| | ギリシャ(319) | KBDCTY62 |
| | ギリシャ(ラテン) | KBDCTY63 |
| | ギリシャ(MS) | KBDCTY66 |
| | ギリシャ(Polytonic) | KBDCTY60 |
| | ハンガリー | KBDCTY12 |
| | ハンガリー(101 キー) | KBDCTY50 |
| | ハンガリー | KBDCTY19 |
| | アイスランド | KBDCTY75 |
| | アイルランド | KBDCTY73 |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | シリアルマシ #には、数字を指定 |
|-------------|------------------------------|---------------------|
| 国別キーボード | イタリア (142) | KBDCTY56 |
| | イタリア | KBDCTY5 |
| | 日本 (ASCII) | KBDCTY28 |
| | ガザフ | KBDCTY78 |
| | キルギス (キリル) | KBDCTY79 |
| | ラテンメリア | KBDCTY14 |
| | ラトビア | KBDCTY42 |
| | ラトビア (QWERTY) | KBDCTY43 |
| | リトアニア | KBDCTY44 |
| | リトアニア (IBM) | KBDCTY45 |
| | マクドニア | KBDCTY34 |
| | マルタ | KBDCTY74 |
| | モンゴル (キリル) | KBDCTY86 |
| | ノルウェー | KBDCTY9 |
| | ポーランド | KBDCTY20 |
| | ポーランド (214) | KBDCTY57 |
| | ポーランド (ブダペスト) | KBDCTY58 |
| | ポルトガル | KBDCTY13 |
| | ルーマニア | KBDCTY25 |
| | ロシア | KBDCTY26 |
| | ロシア (MS) | KBDCTY67 |
| | ロシア (タイプライタ) | KBDCTY68 |
| | SCS | KBDCTY21 |
| | セルビア (キリル) | KBDCTY37 |
| | セルビア (ラテン) | KBDCTY36 |
| | スロバキア | KBDCTY22 |
| | スロバキア (QWERTY) | KBDCTY49 |
| | スロバキア (QWERTZ) | KBDCTY48 |
| | スロベニア | KBDCTY31 |
| | スペイン | KBDCTY10 |
| | スペイン (Variation) | KBDCTY51 |
| | スウェーデン | KBDCTY23 |
| | スイス (フランス) | KBDCTY29 |
| | スイス (ドイツ) | KBDCTY6 |
| | タタール | KBDCTY85 |
| | トルコ F | KBDCTY27 |
| | トルコ Q | KBDCTY24 |
| | ウクライナ | KBDCTY76 |
| | コナテッド キングダム | KBDCTY7 |
| | 米国 (Dvorak right) | KBDCTY89 |
| | 米国 (Dvorak left) | KBDCTY88 |
| | 米国 (Dvorak) | KBDCTY87 |
| | 米国 (インターナショナル) | KBDCTY30 |
| | ウズベク (キリル) | KBDCTY77 |
| キーボード変換 | *大文字・小文字変換無し | KBDCNV0 |
| | 全て大文字へ変換 | KBDCNV1 |
| | 全て小文字へ変換 | KBDCNV2 |
| キーボードスタイル | *レギュラー (全てオフ) | KBDSTY0 |
| | Caps Lock オフ | KBDSTY1 |
| | Shift Lock オフ | KBDSTY2 |
| | Caps Lock 自動 | KBDSTY6 |
| | 外付キーボード イミューション有り | KBDSTY5 |
| 制御キャラクター出力 | *制御キャラクター出力無し | KBDNPE0 |
| | 制御キャラクター出力有り | KBDNPE1 |
| キーボードモディファイ | *Control+X オフ | KBDCAS0 |
| | DOS モード Control+X オフ | KBDCAS1 |
| | Windows モード Control+X オフ | KBDCAS2 |
| | Windows モード プリフィックス/サフィックスオフ | KBDCAS3 |
| | *ターボモード オフ | KBDTMD0 |
| | ターボモード オン | KBDTMD1 |
| | *テンキモード オフ | KBDNPS0 |
| | テンキモード オン | KBDNPS1 |
| | *自動ダイナミック | KBDADC0 |
| | 自動ダイナミック | KBDADC1 |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | シリアルポート #には、数字を指定 |
|------------------------|--------------------------|----------------------|
| ポートレート | 300bps | 232BAD0 |
| | 600bps | 232BAD1 |
| | 1200bps | 232BAD2 |
| | 2400bps | 232BAD3 |
| | 4800bps | 232BAD4 |
| | 9600bps | 232BAD5 |
| | 19200bps | 232BAD6 |
| | 38400bps | 232BAD7 |
| | 57600bps | 232BAD8 |
| | *115200bps | 232BAD9 |
| データビット,ストップビット,パリティ | 7データビット,1ストップビット,パリティ偶数 | 232WRD3 |
| | 7データビット,1ストップビット,パリティ無し | 232WRD0 |
| | 7データビット,1ストップビット,パリティ奇数 | 232WRD6 |
| | 7データビット,2ストップビット,パリティ偶数 | 232WRD4 |
| | 7データビット,2ストップビット,パリティ無し | 232WRD1 |
| | 7データビット,2ストップビット,パリティ奇数 | 232WRD7 |
| | 8データビット,1ストップビット,パリティ偶数 | 232WRD5 |
| | *8データビット,1ストップビット,パリティ無し | 232WRD2 |
| | 8データビット,1ストップビット,パリティ奇数 | 232WRD8 |
| | 8データビット,1ストップビット,パリティマーク | |
| RS232 レイバ タイムアウト | 設定範囲 0~30 秒 | 232LPT### |
| RS232 ハートシェイク | *RTS/CTS コントロール無し | 232CTS0 |
| | 70-コントロール, タイムアウト無し | 232CTS1 |
| | 2 方向70-コントロール | 232CTS2 |
| | 70-コントロール, タイムアウト有り | 232CTS3 |
| | RS232 タイムアウト | 232DEL#### |
| | *XON/XOFF 無し | 232XON0 |
| | XON/XOFF 有り | 232XON1 |
| | *ACK/NAK 無し | 232ACK0 |
| | ACK/NAK 有り | 232ACK1 |
| RS232 ストップモード | RS232 ストップモード 有り | 232SDY |
| Bioptic ハートケットモード | *ハートケットモード オフ | 232PKT0 |
| | ハートケットモード オン | 232PKT2 |
| Bioptic ACK/NAK モード | *ACK/NAK モード オフ | 232NAK0 |
| | ACK/NAK モード オン | 232NAK1 |
| Bioptic ACK/NAK タイムアウト | ACK/NAK タイムアウト *5100 | 232DLK##### |
| 入出力設定 | | |
| パワーアップ ビープ | 無し | BEPPWR0 |
| | *有り | BEPPWR1 |
| BEL キャラクタ ビープ | 有り | BELBEP1 |
| | *無し | BELBEP0 |
| トリガ クリック ビープ | 有り | BEPTRG1 |
| | *無し | BEPTRG0 |
| グッド リード ビープ | 無し | BEPBEP0 |
| | *有り | BEPBEP1 |
| グッド リード ビープ 音量 | 無し | BEPLVL0 |
| | 小 | BEPLVL1 |
| | 中 | BEPLVL2 |
| | *大 | BEPLVL3 |
| グッド リード ビープ 周波数 | 1600Hz (低音) <最小 400Hz> | BEPFQ11600 |
| | *2700Hz (中音) | BEPFQ12700 |
| | 4200Hz (高音) | BEPFQ14200 |
| エラー ビープ 周波数 | *250Hz (低音) <最小 200Hz> | BEPFQ2250 |
| | 3250Hz (中音) | BEPFQ23250 |
| | 4200Hz (高音) | BEPFQ24200 |
| グッド リード ビープ 長さ | *ノーマル | BEPBIP0 |
| | ショート | BEPBIP1 |
| グッド リード LED | 無し | BEPLIED0 |
| | *有り | BEPLIED1 |
| エラー ビープ 回数 | 設定範囲 1~9 (*1) | BEPERR# |
| グッド リード ビープ 回数 | 設定範囲 1~9 (*1) | BEPRPT# |
| グッド リード デレイ | *無し (0 ミリ秒) | DLYGRD0 |
| | 500 ミリ秒 | DLYGRD500 |
| | 1000 ミリ秒 | DLYGRD1000 |
| | 1500 ミリ秒 | DLYGRD1500 |
| | 設定範囲 0~30000 ミリ秒 | DLYGRD##### |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | リアルマシ #には、数字を指定 |
|----------------------|--------------------------------|--------------------|
| マルチトリガモード | マルチトリガモード | PAPHHF |
| LED 照明 (マルチトリガモード) | 低 | PWRNOL15 |
| | 中 | PWRNOL50 |
| | *高 | PWRNOL150 |
| 読取タイムアウト (マルチトリガモード) | 設定範囲 0~300000 ミリ秒 (*30000 ミリ秒) | TRGSTO#### |
| プレゼンテーションモード | プレゼンテーションモード | PAPPST |
| アイドル LED 照明 | 低 | PWRIDL7 |
| | 中 | PWRIDL15 |
| | *高 | PWRIDL50 |
| プレゼンテーション感度 | 設定範囲 0~20 (*1) | TRGPMS## |
| プレゼンテーションセンタリング | 有り | PDCWIN1 |
| | *無し | PDCWIN0 |
| | 上 | PDCTOP |
| | 下 | PDCBOT |
| | 左 | PDCLFT |
| | 右 | PDCRG |
| 低品質コード (1D) | 有り | DECLDI1 |
| | *無し | DECLDI0 |
| 低品質コード (PDF) | 有り | PDFXPR1 |
| | *無し | PDFXPR0 |
| コードゲート | *無し | AOSCGD0 |
| | 有り | AOSCGD1 |
| 携帯電話読取モード | ハンドヘルドモード | PAPHHC |
| | プレゼンテーションモード | PAPPSC |
| イメージスナップ&ショット | イメージスナップ&ショット | TRGMOD6 |
| ハズレフリータイムアウト | 設定範囲 0~300000 ミリ秒 | TRGPTO##### |
| 2 度読み防止デレイ (1D) | 設定範囲 0~30000 ミリ秒 (*750 ミリ秒) | DLYRRD##### |
| 2 度読み防止デレイ (2D) | 設定範囲 0~30000 ミリ秒 (*0 ミリ秒<無し>) | DLY2RR##### |
| キャラクタアクティブーションモード | *無し | HSTCEN0 |
| | 有り | HSTCEN1 |
| アクティブーションキャラクタ | *12<DC2> | HSTACH## |
| キャラクタアクティブーションタイムアウト | 設定範囲 1~300000 ミリ秒 (*30000 ミリ秒) | HSTCDT##### |
| キャラクタデアクティブーションモード | *無し | HSTDEN0 |
| | 有り | HSTDEN1 |
| デアクティブーションキャラクタ | *14<DC4> | HSDHC## |
| LED 照明 | *有り | HSTLED1 |
| | 無し | HSTLED0 |
| イマーデレイ | 設定範囲 0~4000 ミリ秒 (*0 ミリ秒<無し>) | SCNDLY##### |
| イマーモード | 無し | SCNAIM0 |
| | *有り (インターレース) | SCNAIM2 |
| センタリングウィンドウ | 有り | DECWIN1 |
| | *無し | DECWIN0 |
| | 上 (*40%) | DECTOP### |
| | 下 (*60%) | DECBOT### |
| ノーリード | 有り | SHWNRD1 |
| | *無し | SHWNRD0 |
| 反転コード読み取り | 反転コードのみ読み取り | VIDREV1 |
| | 通常コード & 反転コード 両方読み取り | VIDREV2 |
| | *通常コードのみ読み取り無し | VIDREV0 |
| 読み取り方向 | *通常 | ROTATN0 |
| | 90° 回転 (CCW) | ROTATN1 |
| | 上下反転 | ROTATN2 |
| | 90° 回転 (CW) | ROTATN3 |
| プリフィックス/サフィックス設定 | | |
| 全コードシボールサフィックス CR | 全コードシボールサフィックス CR | VSUFCCR |
| プリフィックス | プリフィックス追加 | PREBK2## |
| | 1 プリフィックスクリア | PRECL2 |
| | 全プリフィックスクリア | PRECA2 |
| サフィックス | サフィックス追加 | SUFBK2## |
| | 1 サフィックスクリア | SUFCL2 |
| | 全サフィックスクリア | SUFCA2 |
| ファンクションコード送信 | 有り | RMVFNC0 |
| | 無し | RMVFNC1 |
| キャラクタ間デレイ | 設定範囲 0~1000 (設定単位 5 ミリ秒) | DLYCRX#### |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | シリアルポート #には、数字を指定 |
|--------------|----------------------------|----------------------|
| ファンクション間デレイ | 設定範囲 0～1000 (設定単位 5 ミリ秒) | DLYFNC### |
| メッセージ間デレイ | 設定範囲 0～1000 (設定単位 5 ミリ秒) | DLYMSG### |
| デフォーマット設定 | | |
| デフォーマットデータ | *デフォーマット無し | DFMDF3 |
| | デフォーマット登録開始 | DFMBK3## |
| | 1 デフォーマットクリア | DFMCL3 |
| | 全デフォーマットクリア | DFMCA3 |
| デフォーマットデータ使用 | 無し | DFM_EN0 |
| | 有り (必須無し・プリフィックス/サフィックス有り) | DFM_EN1 |
| | 有り (必須・プリフィックス/サフィックス有り) | DFM_EN2 |
| | 有り (必須無し・プリフィックス/サフィックス無し) | DFM_EN3 |
| | 有り (必須・プリフィックス/サフィックス無し) | DFM_EN4 |
| 基本/代替デフォーマット | 基本デフォーマット | ALTFNM0 |
| | 代替デフォーマット 1 | ALTFNM1 |
| | 代替デフォーマット 2 | ALTFNM2 |
| | 代替デフォーマット 3 | ALTFNM3 |
| コトシボル設定 | | |
| 全コトシボル | 読み取り無し | ALLENA0 |
| | 読み取り有り | ALLENA1 |
| コトバ (NW7) | 全デフォルト | CBRDFT |
| | 読み取り無し | CBRENA0 |
| | *読み取り有り | CBREAN1 |
| | *スタート/ストップ 送信無し | CBRSSX0 |
| | スタート/ストップ 送信有り | CBRSSX1 |
| | *チェックビット検査無し | CBRCCK20 |
| | チェックビット検査 (ビット 16) 有り・送信無し | CBRCCK21 |
| | チェックビット検査 (ビット 16) 有り・送信有り | CBRCCK22 |
| | *連結無し | CBRCCT0 |
| | 連結有り | CBTCCT1 |
| | 連結必須 | CBRCCT2 |
| | 最小桁数 設定範囲 2～60 (*4) | CBRMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 2～60 (*60) | CBRMAX## |
| コト 39 | 全デフォルト | C39DFT |
| | 読み取り無し | C39ENA0 |
| | *読み取り有り | C39ENA1 |
| | *スタート/ストップ 送信無し | C39SSX0 |
| | スタート/ストップ 送信有り | C39SSX1 |
| | *チェックビット検査無し | C39CK20 |
| | チェックビット検査有り・送信無し | C39CK21 |
| | チェックビット検査有り・送信有り | C39CK22 |
| | 最小桁数 設定範囲 0～48 (*0) | C39MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 0～48 (*48) | C39MAX## |
| | *パリティ無し | C39APP0 |
| | パリティ有り | C39APP1 |
| | *PARAF 無し | C39B320 |
| | PARAF 有り | C39B321 |
| | *フルアスキー無し | C39ASC0 |
| | フルアスキー有り | C39ASC1 |
| | コトバージ | C39DCP |
| インターボード 2/5 | 全デフォルト | I25DFT |
| | 読み取り無し | I25ENA0 |
| | *読み取り有り | I25ENA1 |
| | *チェックビット検査無し | I25CK20 |
| | チェックビット検査有り・送信無し | I25CK21 |
| | チェックビット検査有り・送信有り | I25CK22 |
| | 最小桁数 設定範囲 2～80 (*4) | I25MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 2～80 (*80) | I25MAX## |
| NEC 2/5 | 全デフォルト | N25DFT |
| | 読み取り無し | N25ENA0 |
| | *読み取り有り | N25ENA1 |
| | *チェックビット検査無し | N25CK20 |
| | チェックビット検査有り・送信無し | N25CK21 |
| | チェックビット検査有り・送信有り | N25CK22 |
| | 最小桁数 設定範囲 2～80 (*4) | N25MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 2～80 (*80) | N25MAX## |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | リアルマシ #には、数字を指定 |
|--------------|---------------------------|--------------------|
| コト 93 | 全デフォルト | C93DFT |
| | *読み取り無し | C93ENA0 |
| | 読み取り有り | C93ENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 0~80 (*0) | C93MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 0~80 (*80) | C93MAX## |
| | *パスト無し | C93APP0 |
| | パスト有り | C93APP1 |
| | コトパージ | C93DCP |
| インダストリアル 2/5 | 全デフォルト | R25DFT |
| | *読み取り無し | R25ENA0 |
| | 読み取り有り | R25ENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~48 (*4) | R25MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~48 (*48) | R25MAX## |
| | | |
| IATA 2/5 | 全デフォルト | A25DFT |
| | *読み取り無し | A25ENA0 |
| | 読み取り有り | A25ENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~48 (*4) | A25MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~48 (*48) | A25MAX## |
| | | |
| マトリクス 2/5 | 全デフォルト | X25DFT |
| | *読み取り無し | X25ENA0 |
| | 読み取り有り | X25ENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~80 (*4) | X25MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~80 (*48) | X25MAX## |
| | | |
| コト 11 | 全デフォルト | C11DFT |
| | *読み取り無し | C11ENA0 |
| | 読み取り有り | C11ENA1 |
| | 1 チェックデジット | C11CK20 |
| | *2 チェックデジット | C11CK21 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~80 (*4) | C11MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~80 (*48) | C11MAX## |
| | | |
| コト 128 | 全デフォルト | 128DFT |
| | 読み取り無し | 128ENA0 |
| | *読み取り有り | 128ENA1 |
| | *ISBT 連結無し | ISBENA0 |
| | ISBT 連結有り | ISBENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 0~80 (*0) | 128MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 0~80 (*80) | 128MAX## |
| | *パスト無し | 128APP0 |
| | パスト有り | 128APP1 |
| | コトパージ (*2) | 128DCP## |
| | | |
| | | |
| GS1-128 | 全デフォルト | GS1DFT |
| | 読み取り無し | GS1ENA0 |
| | *読み取り有り | GS1ENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 0~80 (*0) | GS1MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 0~80 (*80) | GS1MAX## |
| | | |
| UPC-A | 全デフォルト | UPADFT |
| | 読み取り無し | UPBENA0 |
| | *読み取り有り | UPBENA1 |
| | チェックデジット検査無し | UPACKX0 |
| | *チェックデジット検査有り | UPACKX1 |
| | システムパ-送信無し | UPANSX0 |
| | *システムパ-送信有り | UPANSX1 |
| | *アドオ2無し | UPAAD20 |
| | アドオ2有り | UPAAD21 |
| | *アドオ5無し | UPAAD50 |
| | アドオ5有り | UPAAD51 |
| | *アドオ必須読み取り無し | UPAARQ0 |
| | アドオ必須読み取り有り | UPAARQ1 |
| | アドオパ-レータ無し | UPAADS0 |
| | *アドオパ-レータ有り | UPAADS1 |
| | *UPC-A/EAN-13 拡張キーコード無し | CPNENA0 |
| | UPC-A/EAN-13 拡張キーコード 連結許可 | CPNENA1 |
| | UPC-A/EAN-13 拡張キーコード 連結必須 | CPNENA2 |
| | キーコード GS1 出力無し | CPNGS10 |
| | キーコード GS1 出力有り | CPNGS11 |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | シリアルマウント #には、数字を指定 |
|------------|---------------------------|-----------------------|
| UPC-E | 全デフォルト | UPEDFT |
| | 読み取り無し | UPEENA0 |
| | *読み取り有り | UPEENA1 |
| | *拡張無し | UPEEXP0 |
| | 拡張有り | UPEEXP1 |
| | *アドオン必須読み取り無し | UPEARQ0 |
| | アドオン必須読み取り有り | UPEARQ1 |
| | アドオンバレータ無し | UPEADS0 |
| | *アドオンバレータ有り | UPEADS1 |
| | チェックビット検査無し | UPECKX0 |
| | *チェックビット検査有り | UPECKX1 |
| | 先頭0送信無し | UPENSX0 |
| | 先頭0送信有り | UPENSX1 |
| | *アドオン2無し | UPEAD20 |
| | アドオン2有り | UPEAD21 |
| | *アドオン5無し | UPEAD50 |
| | アドオン5有り | UPEAD51 |
| | *UPC-E1 読み取り無し | UPEEN10 |
| | UPC-E1 読み取り有り | UPEEN11 |
| EAN/JAN-13 | 全デフォルト | E13DFT |
| | 読み取り無し | E13ENA0 |
| | *読み取り有り | E13ENA1 |
| | UPC-A/EAN-13 変換無し | UPAENA0 |
| | UPC-A/EAN-13 変換有り | UPAENA1 |
| | チェックビット検査無し | E13CKX0 |
| | *チェックビット検査有り | E13CKX1 |
| | *アドオン2無し | E13AD20 |
| | アドオン2有り | E13AD21 |
| | *アドオン5無し | E13AD50 |
| | アドオン5有り | E13AD51 |
| | *アドオン必須読み取り無し | E13ARQ0 |
| | アドオン必須読み取り有り | E13ARQ1 |
| | アドオンバレータ無し | E13ADS0 |
| | *アドオンバレータ有り | E13ADS1 |
| | ISBN 変換無し | E13ISB0 |
| | ISBN 変換有り | E13ISB1 |
| EAN/JAN-8 | 全デフォルト | EA8DFT |
| | 読み取り無し | EA8ENA0 |
| | *読み取り有り | EA8ENA1 |
| | チェックビット検査無し | EA8CKX0 |
| | *チェックビット検査有り | EA8CKX1 |
| | *アドオン2無し | EA8AD20 |
| | アドオン2有り | EA8AD21 |
| | *アドオン5無し | EA8AD50 |
| | アドオン5有り | EA8AD51 |
| | *アドオン必須読み取り無し | EA8ARQ0 |
| | アドオン必須読み取り有り | EA8ARQ1 |
| | アドオンバレータ無し | EA8ADS0 |
| | *アドオンバレータ有り | EA8ADS1 |
| MSI | 全デフォルト | MSIDFT |
| | *読み取り無し | MSIENA0 |
| | 読み取り有り | MSIENA1 |
| | *チェックビット検査(タイプ 10)有り・送信無し | MSICKK0 |
| | チェックビット検査(タイプ 10)有り・送信有り | MSICKK1 |
| | チェックビット検査(2タイプ 10)有り・送信無し | MSICKK2 |
| | チェックビット検査(2タイプ 10)有り・送信有り | MSICKK3 |
| | チェックビット検査(タイプ 11)有り・送信無し | MSICKK4 |
| | チェックビット検査(タイプ 11)有り・送信有り | MSICKK5 |
| | チェックビット計算無し・送信無し | MSICKK6 |
| | 最小桁数 設定範囲 4~48(*4) | MSIMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 4~48(*48) | MSIMAX## |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | リアルマシ #には、数字を指定 |
|--------------------------------|--------------------------|--------------------|
| GS1 Databar Omnidirectional | 全デフォルト | RSSDFT |
| | 読み取り無し | RSEENA0 |
| | *読み取り有り | RSEENA1 |
| GS1 Databar Limited | 全デフォルト | RSLDFT |
| | 読み取り無し | RSEENA0 |
| | *読み取り有り | RSEENA1 |
| GS1 Expanded | 全デフォルト | RSEDFT |
| | 読み取り無し | RSEENA0 |
| | *読み取り有り | RSEENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 4~74 (*4) | RSEMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 4~74 (*74) | RSEMAX## |
| Trioptic Code | *読み取り無し | TRIENA0 |
| | 読み取り有り | TRIENA1 |
| Codablock A | 全デフォルト | CBADFT |
| | *読み取り無し | CBAENA0 |
| | 読み取り有り | CBAENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~600 (*1) | CBAMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~600 (*600) | CBAMAX## |
| Codablock F | 全デフォルト | CBFDFT |
| | *読み取り無し | CBFENA0 |
| | 読み取り有り | CBFENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~2048 (*1) | CBFMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~2048 (*2048) | CBFMAX## |
| PDF417 | 全デフォルト | PDFDFT |
| | 読み取り無し | PDFENA0 |
| | *読み取り有り | PDFENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~2750 (*1) | PDFMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~2750 (*2750) | PDFMAX## |
| MacroPDF417 | 読み取り無し | PDFMAC0 |
| | *読み取り有り | PDFMAC1 |
| MicroPDF417 | 全デフォルト | MPDDFT |
| | *読み取り無し | MPDENA0 |
| | 読み取り有り | MPDENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~366 (*1) | MPDMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~366 (*366) | MPDMAX## |
| GS1 Composite | *読み取り無し | COMENA0 |
| | 読み取り有り | COMENA1 |
| | *UPC/EANバースト無し | COMUPC0 |
| | UPC/EANバースト無し | COMUPC1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~2435 (*1) | COMMINS## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~2435 (*2435) | COMMAX## |
| GS1 1Dバースト | GS1-128 1Dバースト | EANEMU1 |
| | GS1 Databar 1Dバースト | EANEMU2 |
| | GS1 1D 拡張無し | EANEMU3 |
| | EAN-8/EAN-13 変換 | EANEMU4 |
| | GS1 1Dバースト無し | EANEMU0 |
| TCIF Linked Code 39 | *読み取り無し | T39ENA0 |
| | 読み取り有り | T39ENA1 |
| QR 1D | 全デフォルト | QRCDFT |
| | 読み取り無し | QRCENA0 |
| | *読み取り有り | QRCENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~7089 (*1) | QRCMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~7089 (*7089) | QRCMAX## |
| | バースト無し | QRCAPP0 |
| | *バースト有り | QRCAPP1 |
| | 1Dバースト (*3) | QRCDCP## |
| Data Matrix | 全デフォルト | IDMDFT |
| | 読み取り無し | IDMENA0 |
| | *読み取り有り | IDMENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~3116 (*1) | IDMMINS## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~3116 (*3116) | IDMMAX## |
| | バースト無し | IDMAPP0 |
| | *バースト有り | IDMAPP1 |
| | 1Dバースト (*51) | IDMDCP## |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | 列挙ワード #には、数字を指定 |
|--------------------------|---|--------------------|
| MaxiCode | 全デフォルト | MAXDFT |
| | 読み取り無し | MAXENA0 |
| | *読み取り有り | MAXENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~150(*1) | MAXMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~150(*150) | MAXMAX## |
| Aztec Code | 全デフォルト | AZTDFT |
| | 読み取り無し | AZTENA0 |
| | *読み取り有り | AZTENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~3832(*1) | AZTMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~3832(*3832) | AZTMAX## |
| | パッド無し | AZTAPP0 |
| | *パッド有り | AZTAPP1 |
| Chinese Sensible Code | コードなし(*51) | AZTDCP## |
| | 全デフォルト | HX_DFT |
| | 読み取り無し | HX_ENA0 |
| | *読み取り有り | HX_ENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 1~7833(*1) | HX_MIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 1~7833(*7833) | HX_MAX## |
| 郵便コード(2D) | | |
| 2D 郵便コード | *読み取り無し | POSTAL0 |
| シングル 2D 郵便コード | オーストラリア郵便コード 読み取り有り | POSTAL1 |
| | 英国郵便コード 読み取り有り | POSTAL7 |
| | カナダ 読み取り有り | POSTAL30 |
| | インテリジントメールコード 読み取り有り | POSTAL10 |
| | 日本郵便コード 読み取り有り | POSTAL3 |
| | KIX 郵便コード 読み取り有り | POSTAL4 |
| | Planet 郵便コード 読み取り有り | POSTAL5 |
| | Postal-4i 読み取り有り | POSTAL9 |
| | Postnet 読み取り有り | POSTAL6 |
| | Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り | POSTAL11 |
| | InfoMail 読み取り有り | POSTAL2 |
| | InfoMail&英国郵便コード 読み取り有り | POSTAL8 |
| コンビネーション 2D 郵便コード | インテリジントメールコード & Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り | POSTAL20 |
| | Postnet&Postal-4i 読み取り有り | POSTAL14 |
| | Postnet&インテリジントメールコード 読み取り有り | POSTAL16 |
| | Postal-4i&インテリジントメールコード 読み取り有り | POSTAL17 |
| | Postal-4i&Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り | POSTAL19 |
| | Planet&Postnet 読み取り有り | POSTAL12 |
| | Planet&Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り | POSTAL18 |
| | Planet&Postal-4i 読み取り有り | POSTAL13 |
| | Planet&インテリジントメールコード 読み取り有り | POSTAL15 |
| | Planet, Postnet, Postal-4i 読み取り有り | POSTAL21 |
| | Planet, Postnet, インテリジントメールコード 読み取り有り | POSTAL22 |
| | Planet, Postal-4i, インテリジントメールコード 読み取り有り | POSTAL23 |
| | Postnet, Postal-4i, インテリジントメールコード 読み取り有り | POSTAL24 |
| | Planet, インテリジントメールコード, Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り | POSTAL25 |
| | Planet, Postal-4i, Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り | POSTAL26 |
| | Postal-4i, インテリジントメールコード, Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り | POSTAL27 |
| | Planet, Postal-4i, インテリジントメールコード 読み取り有り | POSTAL28 |
| | Planet, Postal-4i, インテリジントメールコード, Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り | POSTAL29 |
| Planet チェックゲジット | *送信無し | PLNCKX0 |
| | 送信有り | PLNCKX1 |
| Postnet チェックゲジット | *送信無し | NETCKX0 |
| | 送信有り | NETCKX1 |
| オーストラリア郵便コード インタープリテーション | バー出力 | AUSINT0 |
| | 数字 N テーブル | AUSINT1 |
| | 英数字 C テーブル | AUSINT2 |
| | コンビネーション N&C テーブル | AUSINT3 |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | リアルマシ #には、数字を指定 |
|------------------|----------------------------------|--------------------|
| 郵便コード (1D) | | |
| 中国郵便コード (香港 2/5) | 全デフォルト | CPCDFT |
| | *読み取り無し | CPCENA0 |
| | 読み取り有り | CPCENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 2~80 (*4) | CPCMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 2~80 (*80) | CPCMAX## |
| 韓国郵便コード | 全デフォルト | KPCDFT |
| | *読み取り無し | KPCENA0 |
| | 読み取り有り | KPCENA1 |
| | 最小桁数 設定範囲 2~80 (*4) | KPCMIN## |
| | 最大桁数 設定範囲 2~80 (*80) | KPCMAX## |
| | チェックディジット送信無し | KPCCHK0 |
| | チェックディジット送信有り | KPCCHK1 |
| イメージマシ | | |
| イメージスナップ | 全デフォルト | IMGDFT |
| | イメージスタイル : デコーディング | SNPSTY0 |
| | イメージスタイル : 写真 | SNPSTY1 |
| | イメージスタイル : マニアル | SNPSTY2 |
| | *ビープ無し | SNPBEP0 |
| | ビープ有り | SNPBEP1 |
| | *トリガ待ち無し | SNPTRG0 |
| | トリガ待ち有り | SNPTRG1 |
| | *LED 照明無し | SNPLED0 |
| | LED 照明有り | SNPLED1 |
| | 露出 1~7874 ミリ秒 | SNPEXP## |
| | *ゲイン : 無し | SNPGAN1 |
| | ゲイン : 中 | SNPGAN2 |
| | ゲイン : 大 | SNPGAN4 |
| | ゲイン : 最大 | SNPGAN8 |
| | ターゲットホワイト値 0~255 (*125) | SNPWHT### |
| | 許容デルタ 0~255 (*25) | SNPDEL### |
| | 更新回数 0~10 (*6) | SNPTRY## |
| | ターゲットコントラストレベル 1~99 (*50) | SNPPCT## |
| イメージシフ | *無限遠フィルタ無し | IMGINF0 |
| | 無限遠フィルタ有り | IMGINF1 |
| | *補正無し | IMGCOR0 |
| | 補正有り | IMGCOR1 |
| | *ビット濃度 8ビット/ピクセル | IMGBPP8 |
| | ビット濃度 1ビット/ピクセル (白黒) | IMGBPP1 |
| | イメージシャープフィルタ無し | IMGEDG0 |
| | イメージシャープフィルタ 0~23 | IMGEDG## |
| | *ファイルフォーマット : JPEG | IMGFMT6 |
| | ファイルフォーマット : KIM | IMGFMT0 |
| | ファイルフォーマット : TIFF バイナリ | IMGFMT1 |
| | ファイルフォーマット : TIFF バイナリグループ 4, 圧縮 | IMGFMT2 |
| | ファイルフォーマット : TIFF グレースケール | IMGFMT3 |
| | ファイルフォーマット : 非圧縮バイナリ | IMGFMT4 |
| | ファイルフォーマット : 非圧縮グレースケール | IMGFMT5 |
| | ファイルフォーマット : BMP | IMGFMT8 |
| | *ヒストグラムストレッチ無し | IMGHIS0 |
| | ヒストグラムストレッチ有り | IMGHIS1 |
| | *ノイズ低減無し | IMGFSP0 |
| | ノイズ低減有り | IMGFSP1 |
| | イメージ反転 X 軸 | IMGNVX1 |
| | イメージ反転 Y 軸 | IMGNVY1 |
| | イメージ回転無し (デフォルト) | IMGROT0 |
| | イメージ 90° 右回転 | IMGROT1 |
| | イメージ 180° 回転 (上下反転) | IMGROT2 |
| | イメージ 90° 左回転 | IMGROT3 |
| | JPEG イメージ品質 0~100 (*50) | IMGJQF### |
| | *ガンマ補正無し | IMGGAM0 |
| | ガンマ補正有り 0~1000 (*0) | IMGGAM#### |
| | イメージ切り取り : 左端 0~639 (*0) | IMGWNL### |
| | イメージ切り取り : 右端 0~639 (*639) | IMGWNR### |
| | イメージ切り取り : 上端 0~479 (*0) | IMGWNT### |

| 設定項目 | 設定値 *は、デフォルト値 | リアルマント #には、数字を指定 |
|------------------------------------|-------------------------------|---------------------|
| イメージシフ | イメージ切り取り：下端 0~479 (*479) | IMGWNB### |
| | イメージ切り取り：マージン 0~238 (*0) | IMGMAR### |
| | 送信ポート：ポート無し(生データ) | IMGXFR0 |
| | 送信ポート：ポート無し(*USB のデフォルト) | IMGXFR2 |
| | 送信ポート：圧縮 H 伝送 (*RS232 のデフォルト) | IMGXFR3 |
| | 送信ポート：H 伝送 | IMGXFR4 |
| | *ビット送信：全ビット送信 | IMGSUB1 |
| | ビット送信：縦横共に 2 ビット毎に送信 | IMGSUB2 |
| | ビット送信：縦横共に 3 ビット毎に送信 | IMGSUB3 |
| | *ドキュメントイメージフィルタ無し | IMGUSG0 |
| | ドキュメントイメージフィルタ有り 0~255 (*0) | IMGUSH### |
| | *ヒストグラム送信無し | IMGHST0 |
| | ヒストグラム送信有り | IMGHST1 |
| イメージサイズ 互換性 | VGA | IMGVGA1 |
| | ネイティブ | IMGVGA0 |
| ユーティリティ | | |
| 全シリアルにプリフィックスとしてコード ID を付加 (テンポラリ) | | PRECA2, BK2995C80! |
| データリビジョン取得 | | REV_DR |
| スキャンライバリビジョン取得 | | REV_SD |
| ソフトウェアリビジョン取得 | | REVINF |
| データフォーマット取得 | | DFMBK3? |
| テストメニュー送信 | 有効 | TSTMNU1 |
| | *無効 | TSTMNU0 |
| プラグインアプリケーション | *デコードインクアプリケーション有効 | PLGDCE1 |
| | デコードインクアプリケーション無効 | PLGDCE0 |
| | *フォーミングアプリケーション有効 | PLGFOE1 |
| | *フォーミングアプリケーション無効 | PLGFOE0 |
| | アプリケーションリスト取得 | PLGINF |
| 工場デフォルト | カスタムデフォルト削除 | DEFOVR |
| | デフォルト初期化 | DEFAULT |

12. システムコマンド

本章では、リーダーがサポートしている幾つかのシステムコマンドを紹介します。

プリフィックスとしてコード ID を付加

下記のコードをスキャンすると、プリフィックスとしてコード ID が全コードシリアルに対して一時的に付加されます。これは、テストを目的とした一時的な設定であるため、リーダーの電源を落とすと、元の設定に復帰します。コード ID については、「補足 A. コードシリアル表」を参照ください。



デコードレビジョン取得

下記のコードをスキャンすると、リーダーは、デコードレビジョンを出力します。



スキャンライバレビジョン取得

下記のコードをスキャンすると、リーダーは、スキャンライバレビジョンを出力します。スキャンライバは、イメージキャプチャ制御を行います。



ソフトウェアレビジョン取得

下記のコードをスキャンすると、リーダーは、ソフトウェアレビジョンを出力します。ソフトウェアレビジョンには、2次元コードリーダーエンジンのシリアル番号などエンジンに関する情報が含まれます。



データフォーマット取得

下記のコードをスキャンすると、現在のデータフォーマット設定を出力します。



テストメニュー送信

「テストメニュー送信 有り」に設定すると、リーダーは、スキャンしたプログラムのコードの内容を送信します。この場合でも、設定は有効です。特殊な機能なため、通常の業務では使用することはありません。



デフォルト初期化

カスタムデフォルト又は工場デフォルトで初期化します。工場デフォルトで初期化したい場合は、先に登録されているカスタムデフォルト値を削除してください。



プラグインアプリケーション

リーダーには、お客様のニーズに合わせたプラグインアプリケーションをインストールすることができます。インストールしたアプリケーションは、下記のコードで有効・無効を切り替えることができます。設定変更を行った場合、リーダーの電源をリセットする必要があります。



13. トラブルシューティング

電源が入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

コードを読み取らない

- 対象コードの品質は悪くないですか？ 汚れたコード、劣化したプリンタで印刷したコード、複写コードなど、品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となります。
- 対象のコード種を読み取れるように設定していますか？
- チェックデジットが付加されていないバーコードに対して、「チェックデジット検査有り」と設定していませんか？
- 最小読取桁数・最大読取桁数の設定は、対象コードの桁数に合っていますか？
- 読取窓は汚れていませんか？

コードを読み取りづらい

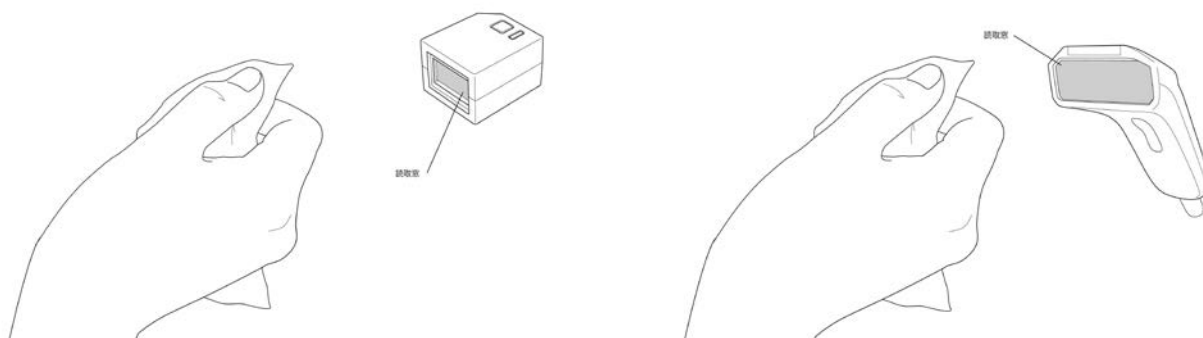
- 対象コードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となります。
- 読取窓は汚れていませんか？

PC にデータが入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- リーダのインターフェイス設定は間違っていないですか？

その他

- リーダの読取窓が汚れていると、コードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

補足 A. コードシリアル表

A.1.1 次元コードシリアル&特殊コード

| コードシリアル名 | AIM コード ID | | 標準コード ID | |
|-------------------------------|------------|-------------------|----------|------|
| | ID | モディファイア(m) | ID | Hex |
| 全シリアル | | | | 99 |
| コードバ - (NW7) |]Fm | 0-1 | a | 61 |
| コード 11 |]H3 | | h | 68 |
| コード 128 |]Cm | 0,1,2,4 | j | 6A |
| コード 32 Pharmaceutical (PARAF) |]X0 | | < | 3C |
| コード 39 (サポート フルアスキーコード) |]Am | 0,1,3,4,5,7 | b | 62 |
| TLC39 (TCIF Liked コード 39) |]L2 | | T | 54 |
| コード 93 (93i) |]Gm | 0-9, A-Z, a-m | i | 69 |
| EAN/JAN |]Em | 0,1,3,4 | d | 64 |
| EAN-13 (Bookland EAN 含む) |]E0 | | d | 64 |
| EAN-13 プトオ |]E3 | | d | 64 |
| EAN-13 拡張クォンコード |]E3 | | d | 64 |
| EAN-8 |]E4 | | D | 44 |
| EAN-8 プトオ |]E3 | | D | 44 |
| GS1 | | | | |
| GS1 Databar |]em | 0 | y | 79 |
| GS1 Databar Limited |]em | | { | 7B |
| GS1 Databar Expanded |]em | | } | 7D |
| GS1-128 |]C1 | | I | 49 |
| 2 オブ 5 | | | | |
| China Post (Hong Kong 2 オブ 5) |]X0 | | Q | 51 |
| インタープット 2 オブ 5 |]Im | 0,1,3 | e | 65 |
| マトリクス 2 オブ 5 |]X0 | | m | 6D |
| NEC 2 オブ 5 |]X0 | | Y | 59 |
| ストリート 2 オブ 5 IATA |]Rm | 0,1,3 | f | 66 |
| インダストリアル 2 オブ 5 |]S0 | | f | 66 |
| MSI |]Mm | | g | 67 |
| Telepen |]Bm | | t | 74 |
| UPC | | 0,1,2,3,8,9,A,B,C | | |
| UPC-A |]E0 | | c | 63 |
| UPC-A プトオ |]E3 | | c | 63 |
| UPC-A 拡張クォンコード |]E3 | | c | 63 |
| UPC-E |]E0 | | E | 45 |
| UPC-E プトオ |]E3 | | E | 45 |
| UPC-E1 |]X0 | | E | 45 |
| 特殊コード | | | | |
| 標準コード ID | | | | 5C80 |
| AIM コード ID | | | | 5C81 |
| バックスラッシュ (¥マーク) | | | | 5C5C |
| バッチモード 数量 | | | 5 | 35 |

A.2. 2次元コード シンボル

| シンボル名 | AIM コード ID | | 標準コード ID | |
|-----------------------------|------------|---------------|----------|-----|
| | ID | モジュール幅(m) | ID | Hex |
| 全シンボル | | | | 99 |
| Aztec コード | 1zm | 0-9, A-C | z | 7A |
| Chinese Sensible コード | 1X0 | | H | 48 |
| Codablock A | 1O6 | 0, 1, 4, 5, 6 | V | 56 |
| Codablock F | 1Om | 0, 1, 4, 5, 6 | q | 71 |
| コード 49 | 1Tm | 0, 1, 2, 4 | l | 6C |
| Data Matrix | 1dm | 0-6 | w | 77 |
| GS1 | 1em | 0-3 | y | 79 |
| GS1 Composite | 1em | 0-3 | y | 79 |
| GS1 Databar omnidirectional | 1em | | y | 79 |
| MaxiCode | 1Um | 0-3 | x | 78 |
| PDF417 | 1Lm | 0-2 | r | 72 |
| MicroPDF417 | 1Lm | 0-5 | R | 52 |
| QR コード | 1Qm | 0-6 | s | 73 |
| マクロ QR コード | 1Qm | | s | 73 |

A.3. 郵便コード シンボル

| シンボル名 | AIM コード ID | | 標準コード ID | |
|---------------------------|------------|-----------|----------|-----|
| | ID | モジュール幅(m) | ID | Hex |
| 全シンボル | | | | 99 |
| Australian Post | 1X0 | | A | 41 |
| British Post | 1X0 | | B | 42 |
| Canadian Post | 1X0 | | C | 43 |
| China Post | 1X0 | | Q | 51 |
| InfoMail | 1X0 | | , | 2C |
| Intelligent Mail Bar Code | 1X0 | | M | 4D |
| Japanese Post (日本郵便コード) | 1X0 | | J | 4A |
| KIX Post | 1X0 | | K | 4B |
| Korea Post | 1X0 | | ? | 3F |
| Planet Code | 1X0 | | L | 4C |
| Postal-4i | 1X0 | | N | 4E |
| Postnet | 1X0 | | P | 50 |

補足 B. ASCII コード 変換表

(*) CTRL-X コード は、OS 及びアプリケーションに依存します。

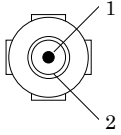
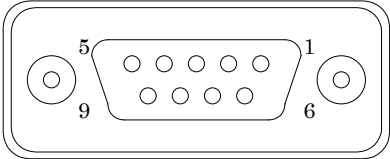
| コントロールキャラクタ (ファンクションコード) | | | | | |
|--------------------------|-----|------|------------------------|------------------------|----------|
| Dec | Hex | Char | CTRL+X コード 名 (KBDCAS0) | CTRL+X コード 名 (KBDCAS1) | |
| | | | | CTRL+X | 機能 |
| 0 | 00 | NUL | Reserved | CTRL+@ | |
| 1 | 01 | SOH | テンキー Enter | CTRL+A | 全て選択 |
| 2 | 02 | STX | Caps Lock | CTRL+B | 太字 |
| 3 | 03 | ETX | ALT メイ | CTRL+C | 北 - |
| 4 | 04 | EOT | ALT プレイ | CTRL+D | ブックマーク |
| 5 | 05 | ENQ | CTRL メイ | CTRL+E | 中央寄せ |
| 6 | 06 | ACK | CTRL プレイ | CTRL+F | 検索 |
| 7 | 07 | BEL | Enter/Return | CTRL+G | |
| 8 | 08 | BS | (Apple メイ) | CTRL+H | 履歴 |
| 9 | 09 | HT | Tab | CTRL+I | 斜体 |
| 10 | 0A | VF | (Apple プレイ) | CTRL+J | 両端揃え |
| 11 | 0B | VT | Tab | CTRL+K | ハイパーリンク |
| 12 | 0C | FF | Delete | CTRL+L | リスト, 左寄せ |
| 13 | 0D | CR | Enter/Return | CTRL+M | |
| 14 | 0E | SO | Insert | CTRL+N | 新規作成 |
| 15 | 0F | SI | ESC | CTRL+O | 開く |
| 16 | 10 | DLE | F11 | CTRL+P | 印刷 |
| 17 | 11 | DC1 | Home | CTRL+Q | 終了 |
| 18 | 12 | DC2 | PrtScn | CTRL+R | |
| 19 | 13 | DC3 | Backspace | CTRL+S | 保存 |
| 20 | 14 | DC4 | Back Tab | CTRL+T | |
| 21 | 15 | NAK | F12 | CTRL+U | |
| 22 | 16 | SYN | F1 | F1 | 貼り付け |
| 23 | 17 | ETB | F2 | CTRL+W | |
| 24 | 18 | CAN | F3 | CTRL+X | |
| 25 | 19 | EM | F4 | CTRL+Y | |
| 26 | 1A | SUB | F5 | CTRL+Z | |
| 27 | 1B | ESC | F6 | CTRL+[| |
| 28 | 1C | FS | F7 | CTRL+¥ | |
| 29 | 1D | GS | F8 | CTRL+] | |
| 30 | 1E | RS | F9 | CTRL+^ | |
| 31 | 1F | US | F10 | CTRL+~ | |
| 127 | 7F | | テンキー Enter | | |

| 印刷可能キャラクタ | | | | | | | | |
|-----------|-----|-------|-----|-----|------|-----|-----|------|
| Dec | Hex | Char | Dec | Hex | Char | Dec | Hex | Char |
| 32 | 20 | Space | 64 | 40 | @ | 96 | 60 | ` |
| 33 | 21 | ! | 65 | 41 | A | 97 | 61 | a |
| 34 | 22 | " | 66 | 42 | B | 98 | 62 | b |
| 35 | 23 | # | 67 | 43 | C | 99 | 63 | c |
| 36 | 24 | \$ | 68 | 44 | D | 100 | 64 | d |
| 37 | 25 | % | 69 | 45 | E | 101 | 65 | e |
| 38 | 26 | & | 70 | 46 | F | 102 | 66 | f |
| 39 | 27 | ' | 71 | 47 | G | 103 | 67 | g |
| 40 | 28 | (| 72 | 48 | H | 104 | 68 | h |
| 41 | 29 |) | 73 | 49 | I | 105 | 69 | i |
| 42 | 2A | * | 74 | 4A | J | 106 | 6A | j |
| 43 | 2B | + | 75 | 4B | K | 107 | 6B | k |
| 44 | 2C | , | 76 | 4C | L | 108 | 6C | l |
| 45 | 2D | - | 77 | 4D | M | 109 | 6D | m |
| 46 | 2E | . | 78 | 4E | N | 110 | 6E | n |
| 47 | 2F | / | 79 | 4F | O | 111 | 6F | o |
| 48 | 30 | 0 | 80 | 50 | P | 112 | 70 | p |
| 49 | 31 | 1 | 81 | 51 | Q | 113 | 71 | q |
| 50 | 32 | 2 | 82 | 52 | R | 114 | 72 | r |
| 51 | 33 | 3 | 83 | 53 | S | 115 | 73 | s |
| 52 | 34 | 4 | 84 | 54 | T | 116 | 74 | t |
| 53 | 35 | 5 | 85 | 55 | U | 117 | 75 | u |
| 54 | 36 | 6 | 86 | 56 | V | 118 | 76 | v |
| 55 | 37 | 7 | 87 | 57 | W | 119 | 77 | w |
| 56 | 38 | 8 | 88 | 58 | X | 120 | 78 | x |
| 57 | 39 | 9 | 89 | 59 | Y | 121 | 79 | y |
| 58 | 3A | : | 90 | 5A | Z | 122 | 7A | z |
| 59 | 3B | ; | 91 | 5B | [| 123 | 7B | { |
| 60 | 3C | < | 92 | 5C | ¥ | 124 | 7C | |
| 61 | 3D | = | 93 | 5D |] | 125 | 7D | } |
| 62 | 3E | > | 94 | 5E | ^ | 126 | 7E | ~ |
| 63 | 3F | ? | 95 | 5F | _ | 127 | 7F | |

補足 D. RS232C インターフェイスのピン配列

下記に RS232C インターフェイスのピン配列を示します。

| D-Sub9P 信号配列 | |
|--------------|----------------|
| ピン番号 | 信号名 |
| 1 | 外部トリガ (藍) |
| 2 | TxD (白) |
| 3 | RxD (緑) |
| 5 | GND (黒・シールド) |
| 7 | CTS (黄) |
| 8 | RTS (橙) |
| 9 | VCC (赤) |
| 電源配列 | |
| ピン番号 | 信号名 |
| 1 | VCC (+5V) |
| 2 | GND |



補足 E. サンプルコード

UPC-A



インターリーブド 25



コード 128



EAN/JAN-13



コード 39



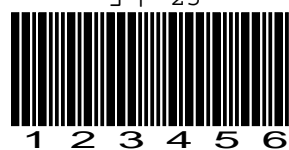
コードバ (NW7)



コード 93



コード 25



PDF417



MicroPDF417



QRコード



データマトリクス



日本郵便コード (カスタムコード)



修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てドバツ方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

| 修理依頼書 | | | |
|--|----------------|-------|------|
| 依頼日 | | | |
| 会社名 | | | |
| 部署名 | | | |
| 担当者 | | | |
| メールアドレス | | | |
| 電話番号 | | FAX番号 | |
| ご住所 | | | |
| 販売店名 | | ご購入日 | |
| 製品型番（名称） | | | |
| 製造番号（S/N） | | | |
| 付属品 | ケーブル[]・ACアダプタ | | |
| <p>トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。</p> <p>症状発生頻度 : <input type="checkbox"/> 常に起こる <input type="checkbox"/> 1日に[]回程度 インターフェイス : <input type="checkbox"/> キーボード <input type="checkbox"/> RS232C <input type="checkbox"/> USB <input type="checkbox"/> その他 [] 接続ホスト : メーカー [] 型番 []</p> <p>その他、使用状況を記入ください。</p> | | | |
| 返送先 | | | |
| 見積・請求先 | | | |
| <p>スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。</p> | | | ご確認印 |